

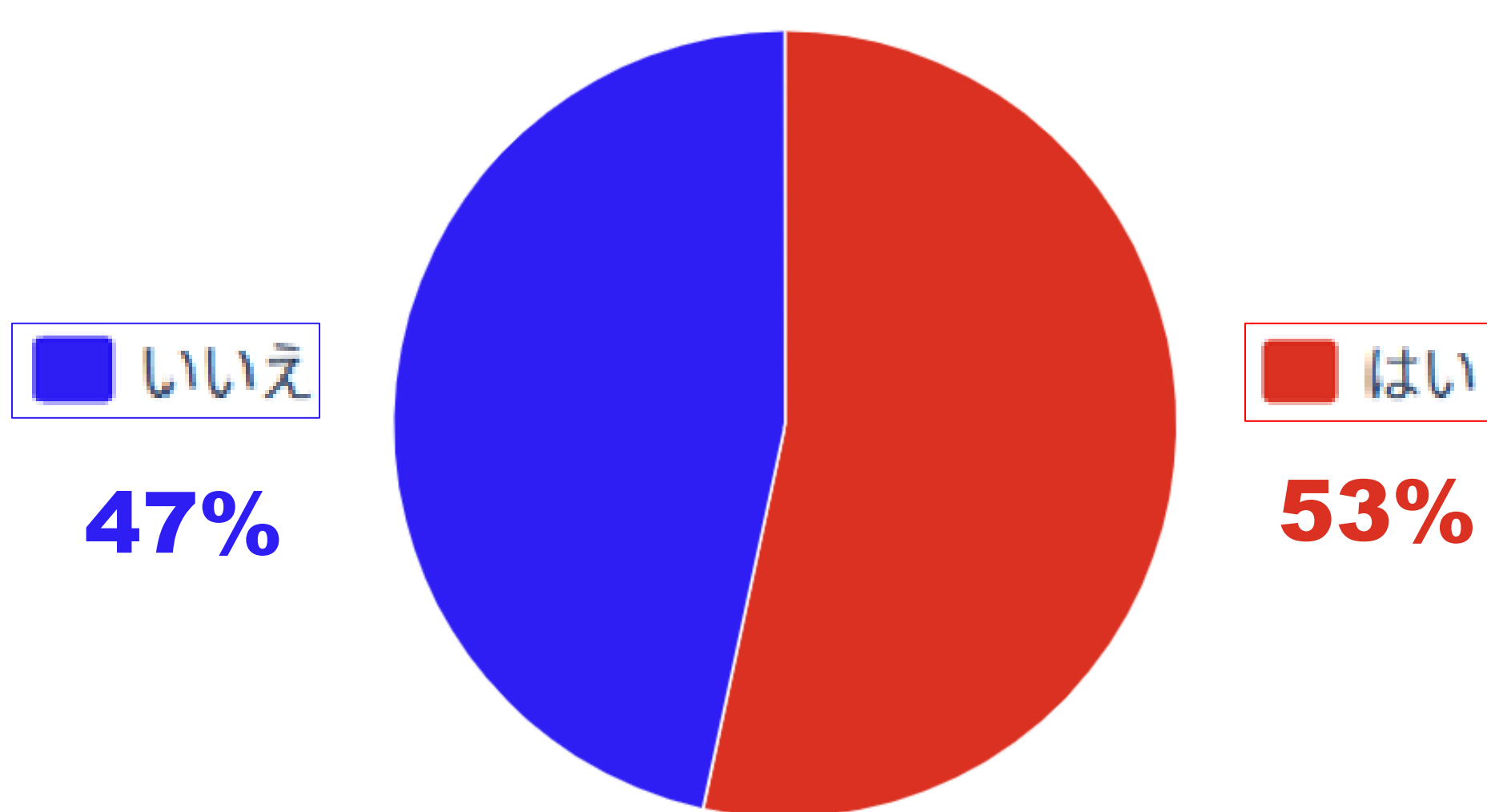
2024年 ふるさと納税実施調査

【実施期間】

2024年12月

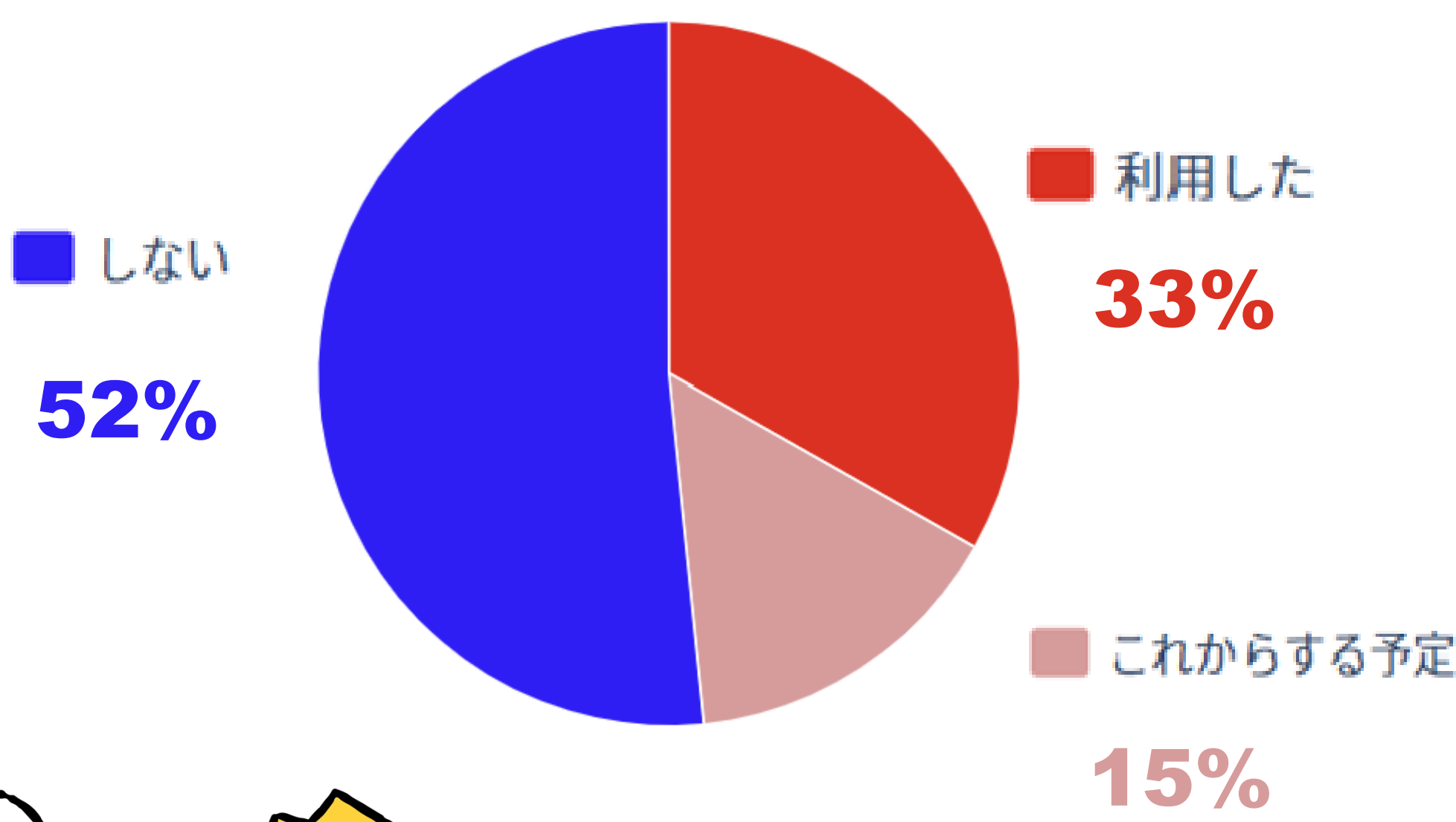
ふるさと納税の利用経験

ー今までふるさと納税を利用したことはありますか？



2024年のふるさと納税利用状況

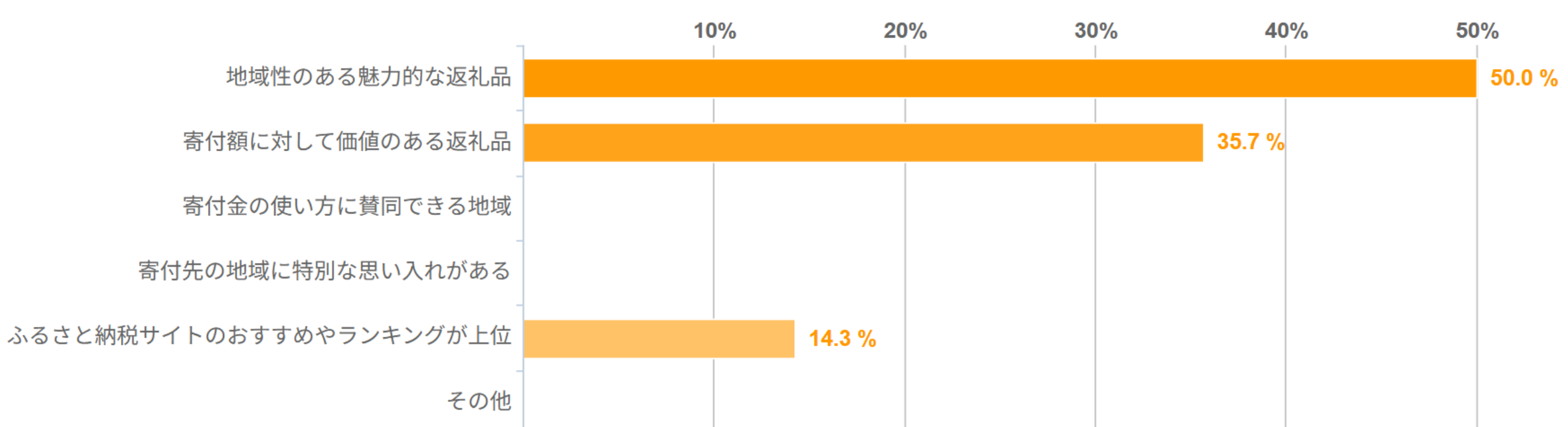
ー今年（2024年）、ふるさと納税を利用しましたか？



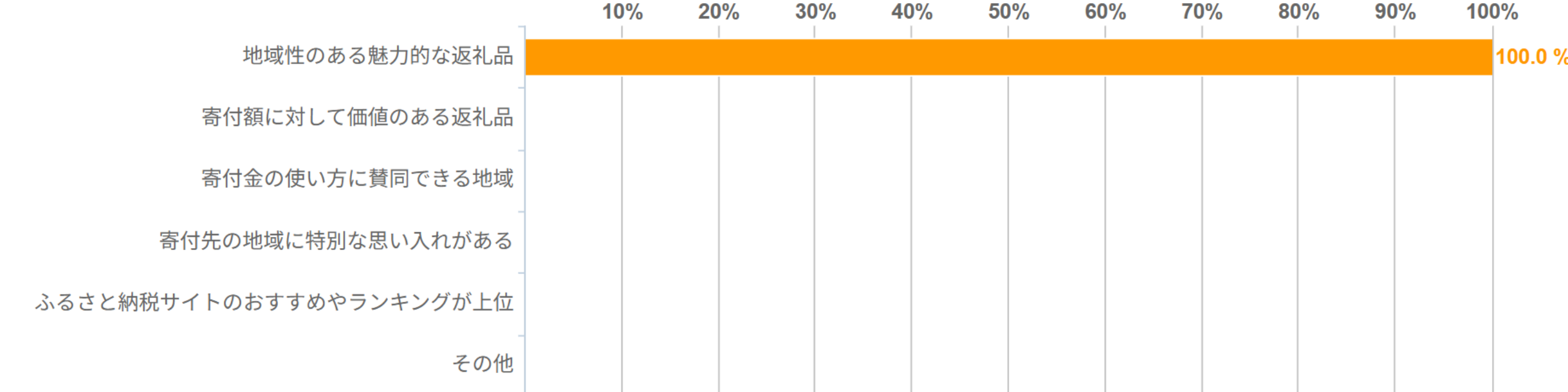
寄付先を選ぶときのポイント

ーふるさと納税の寄付先を選ぶ際、どのようなポイントを重視しますか？

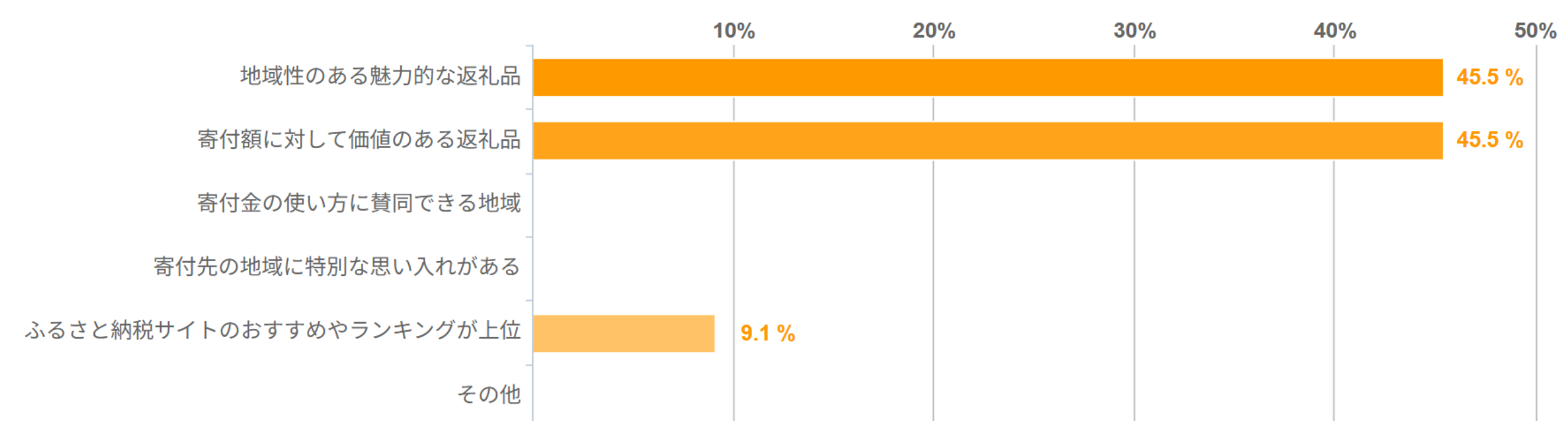
美容業



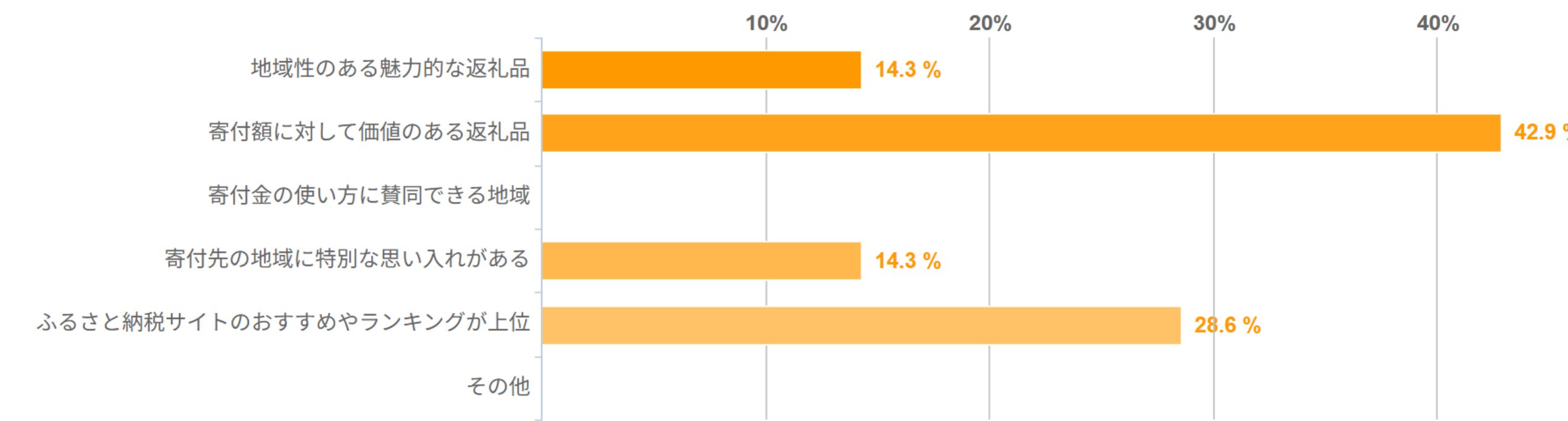
飲食業



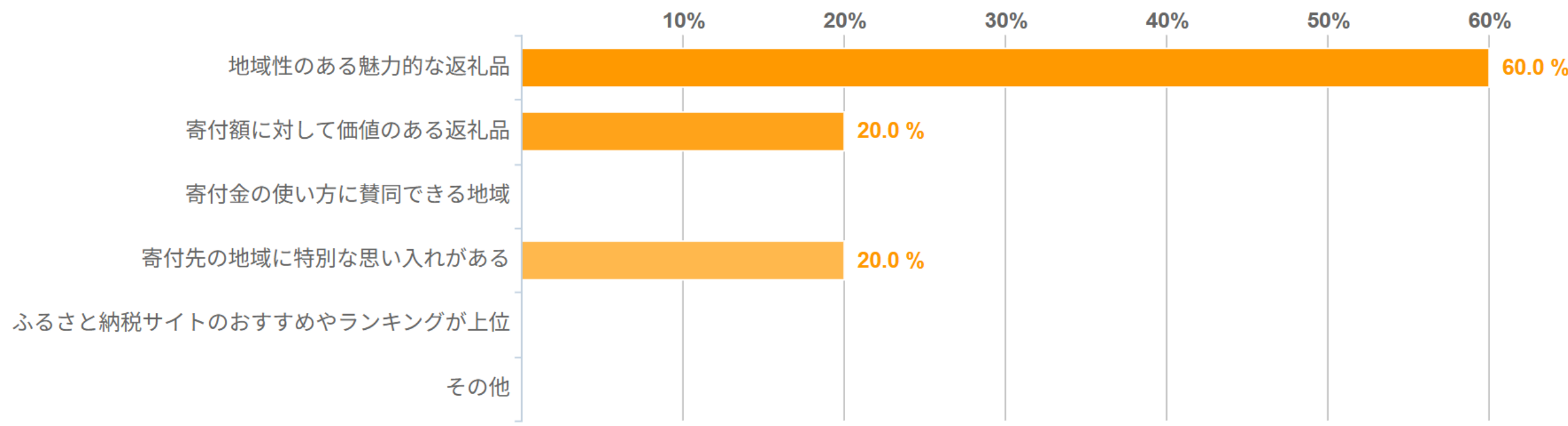
小売業



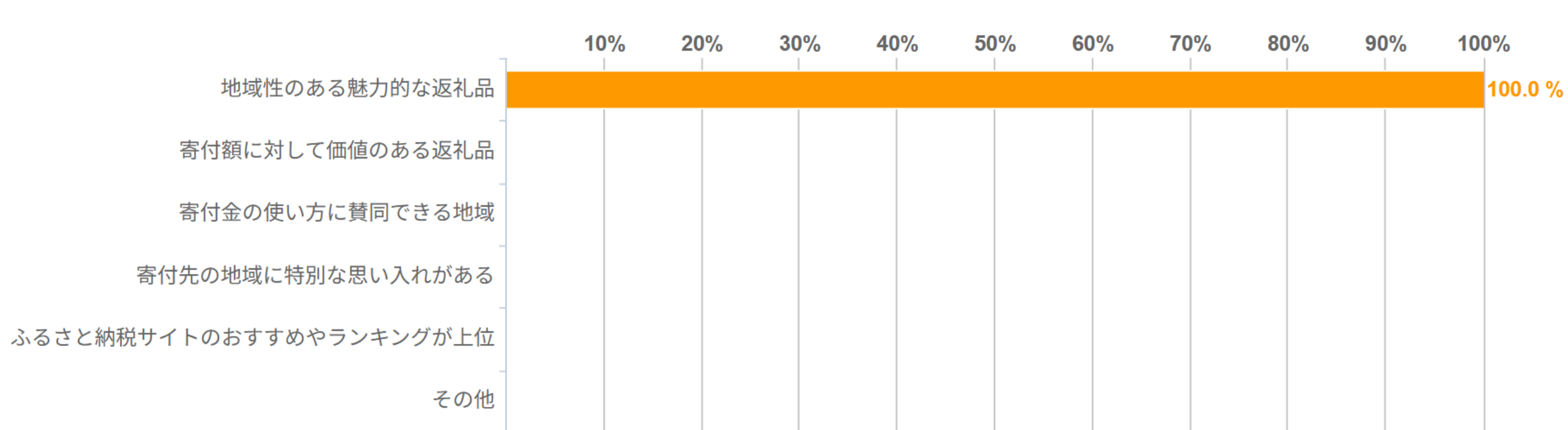
建設業



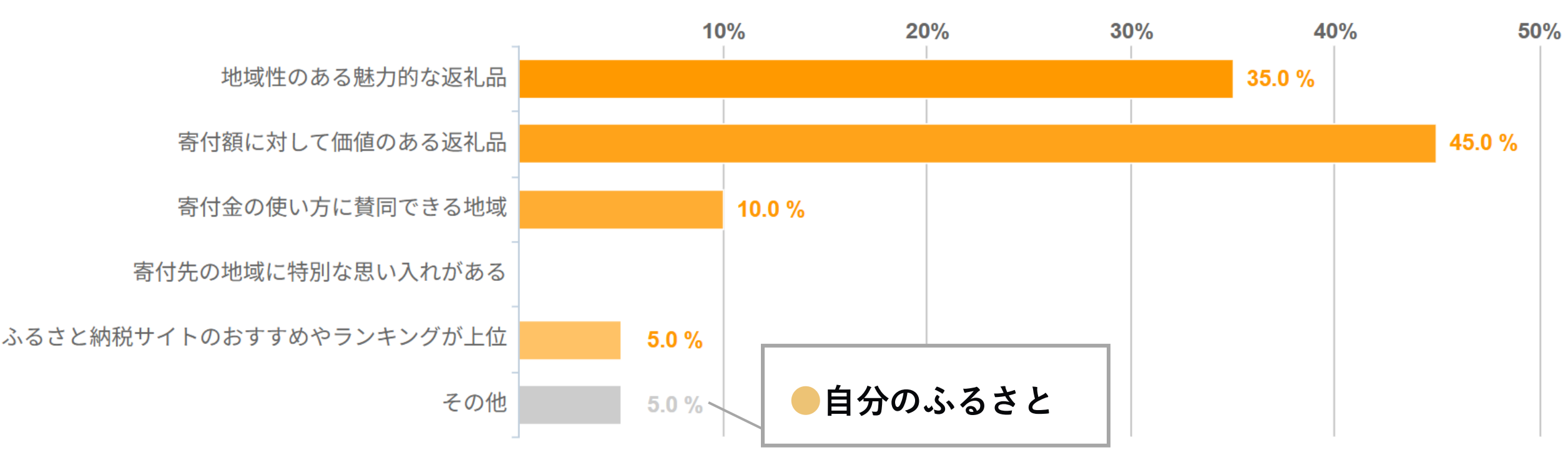
運送業



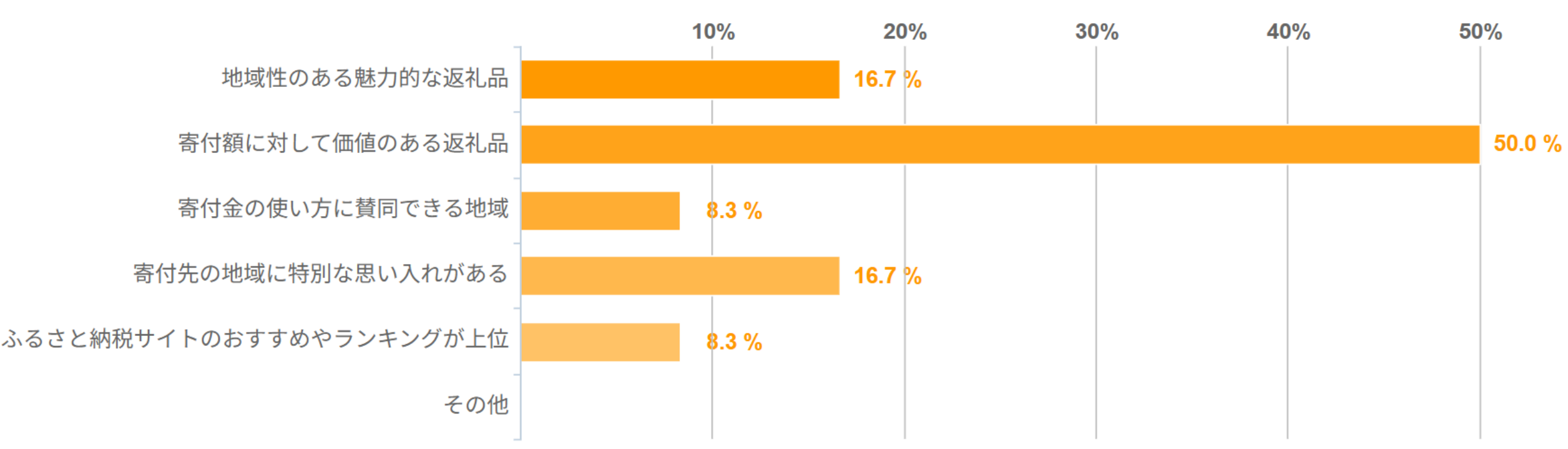
不動産業



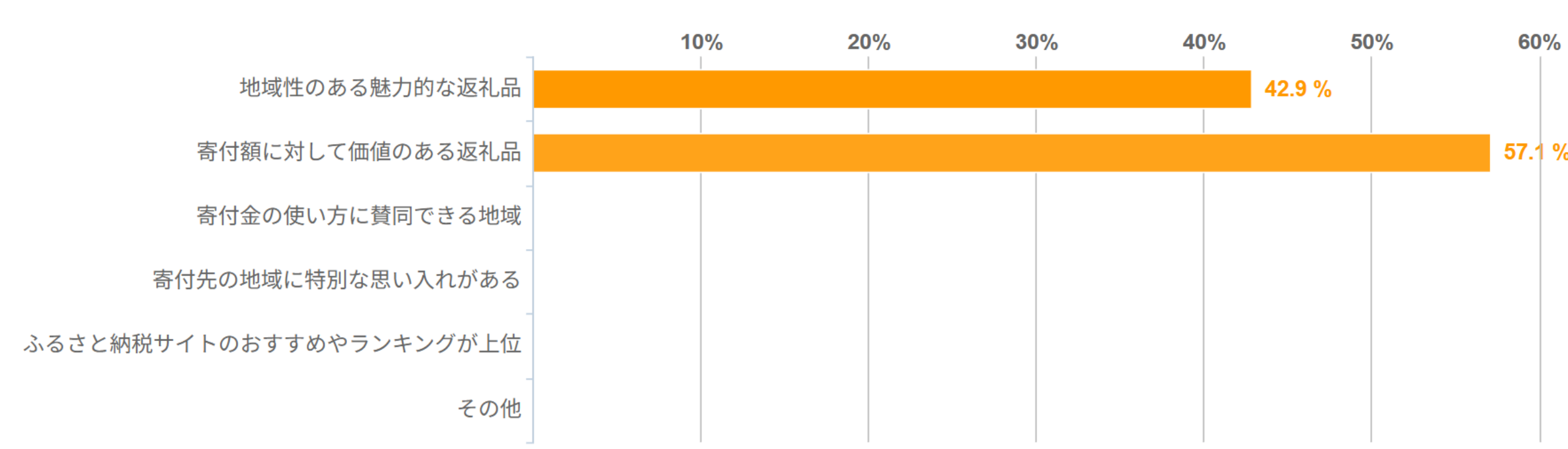
WEBサービス業



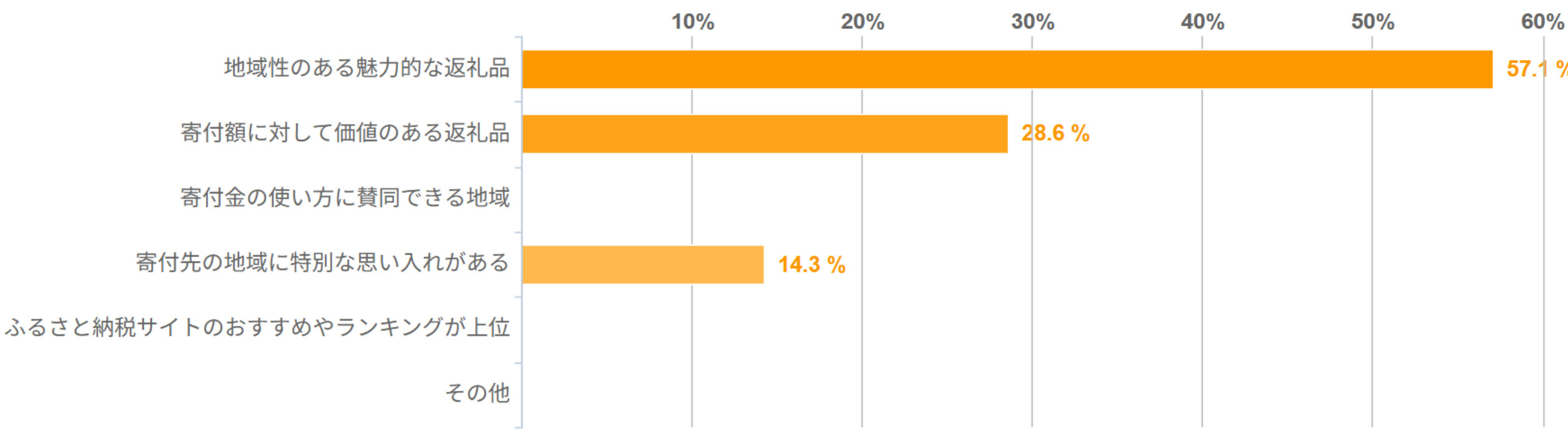
医療業・福祉業



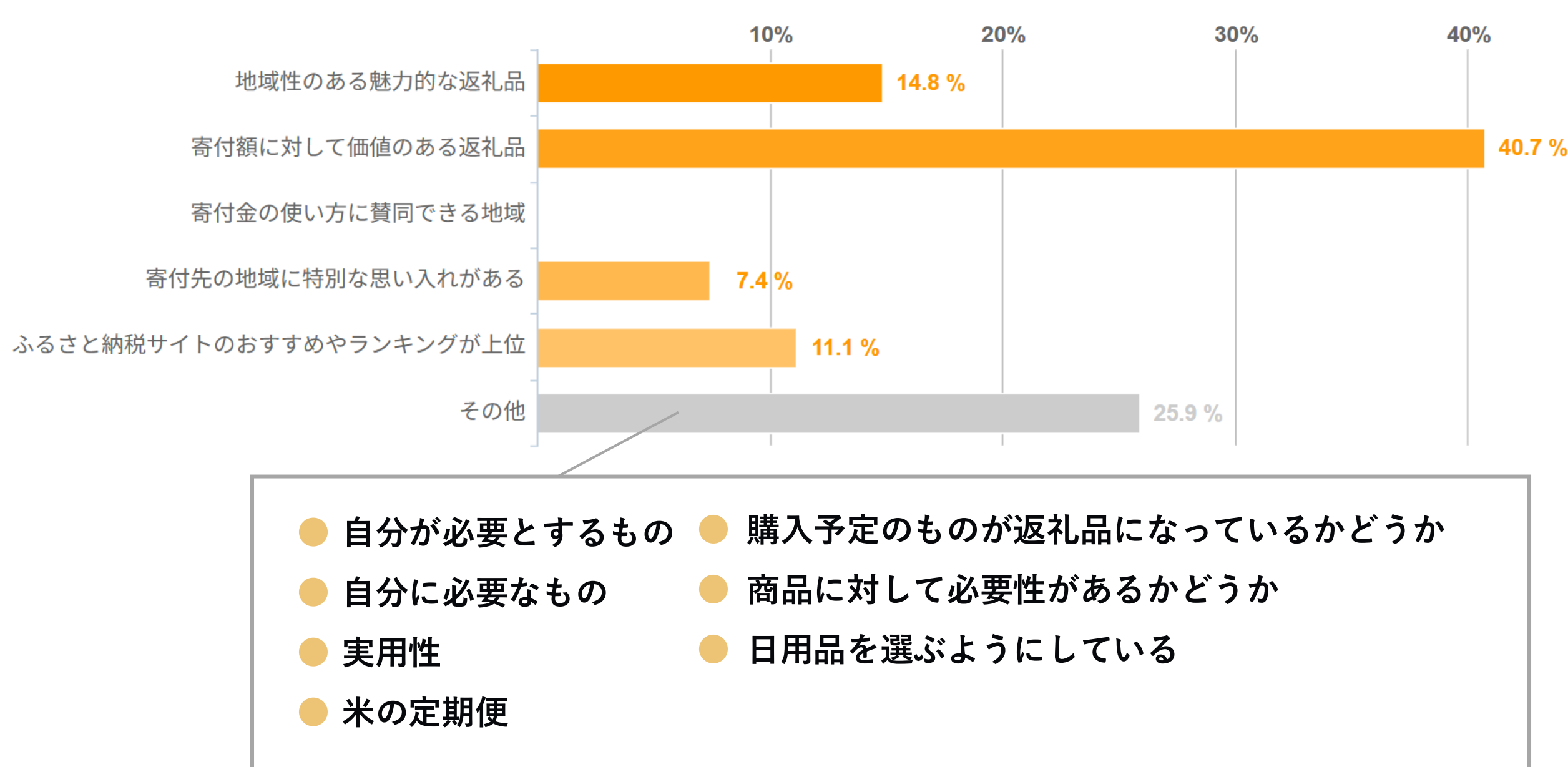
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



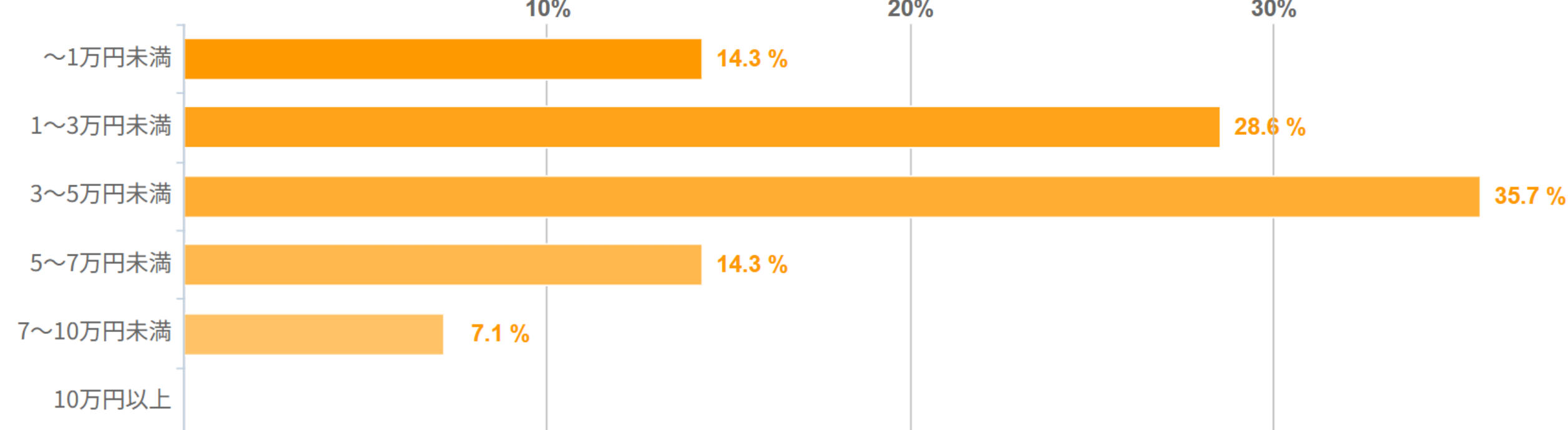
その他



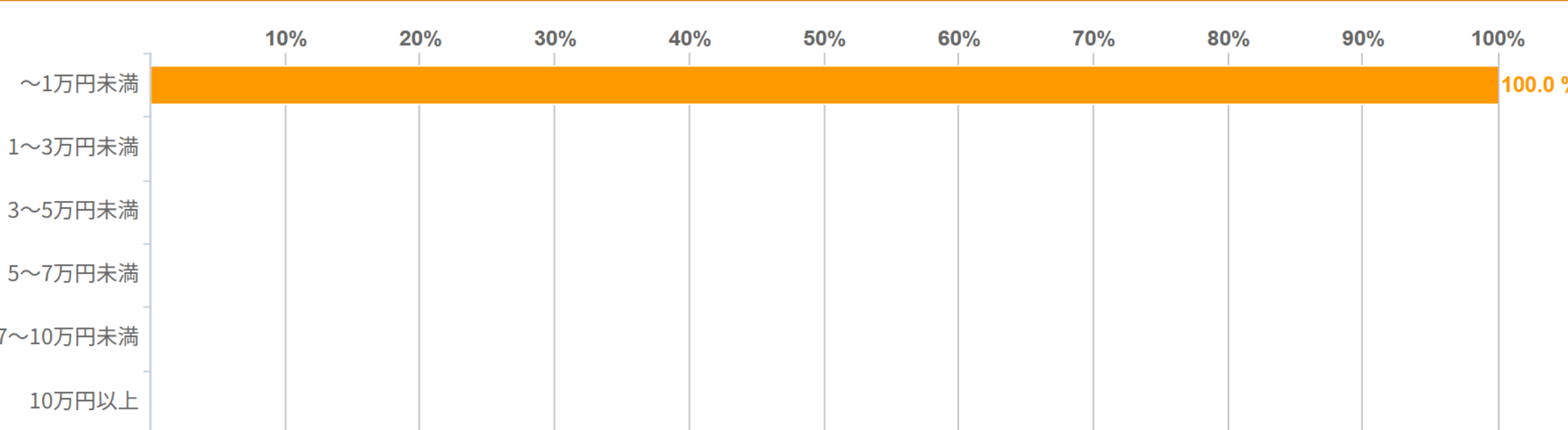
今年(2024年)のふるさと納税金額

ー今年(2024年)した、ふるさと納税金額を教えてください。

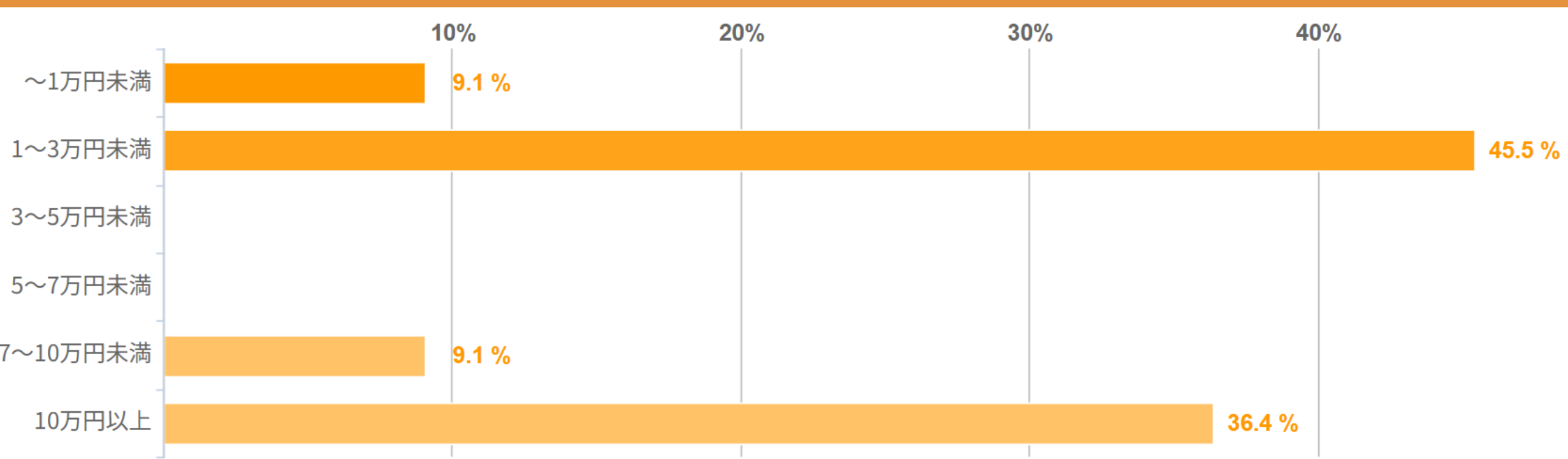
美容業



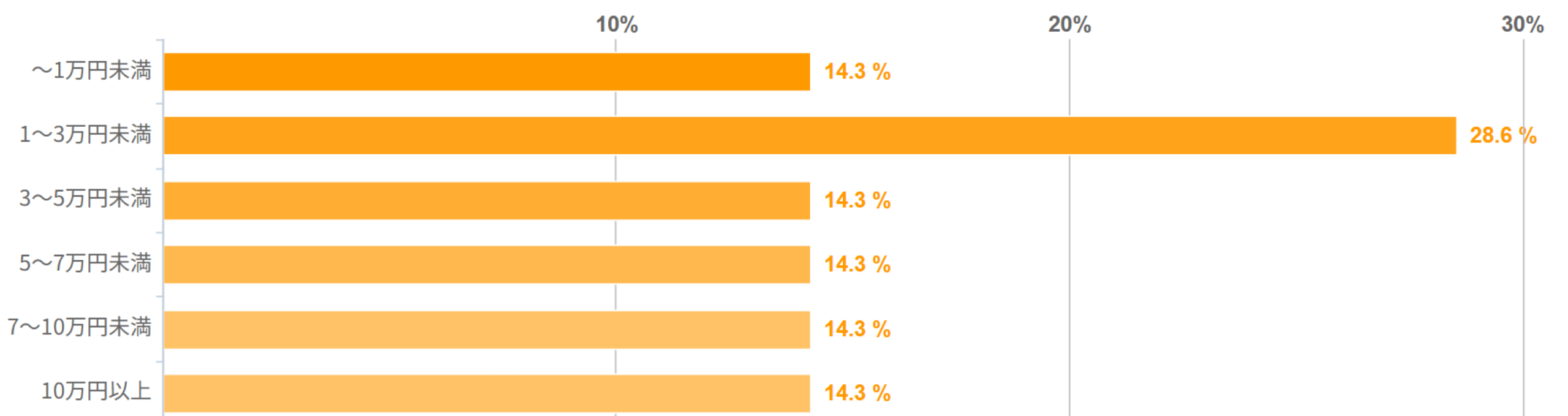
飲食業



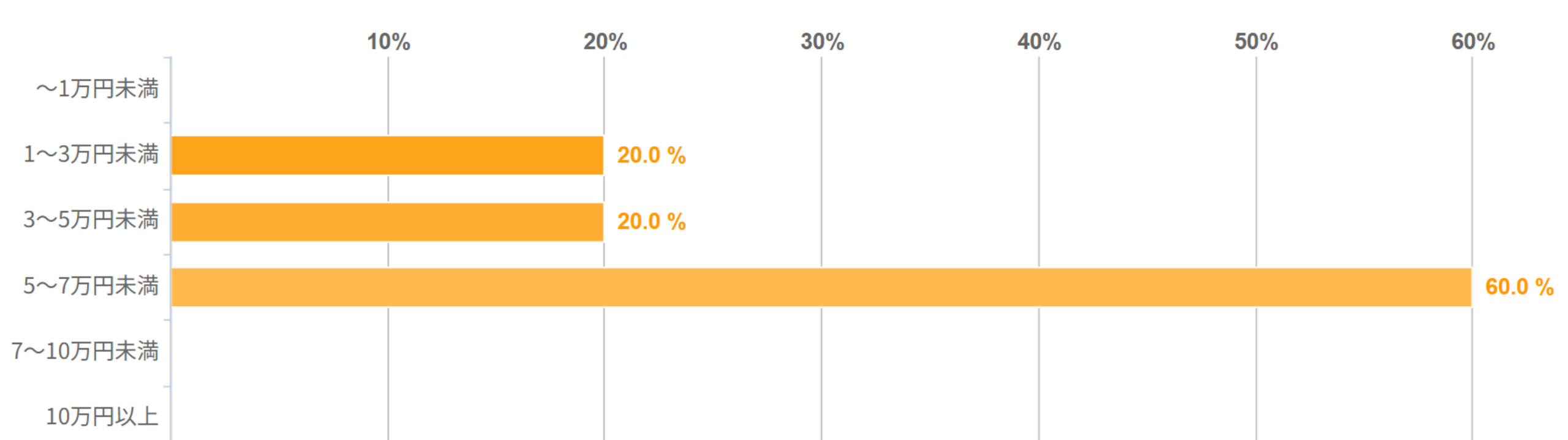
小売業



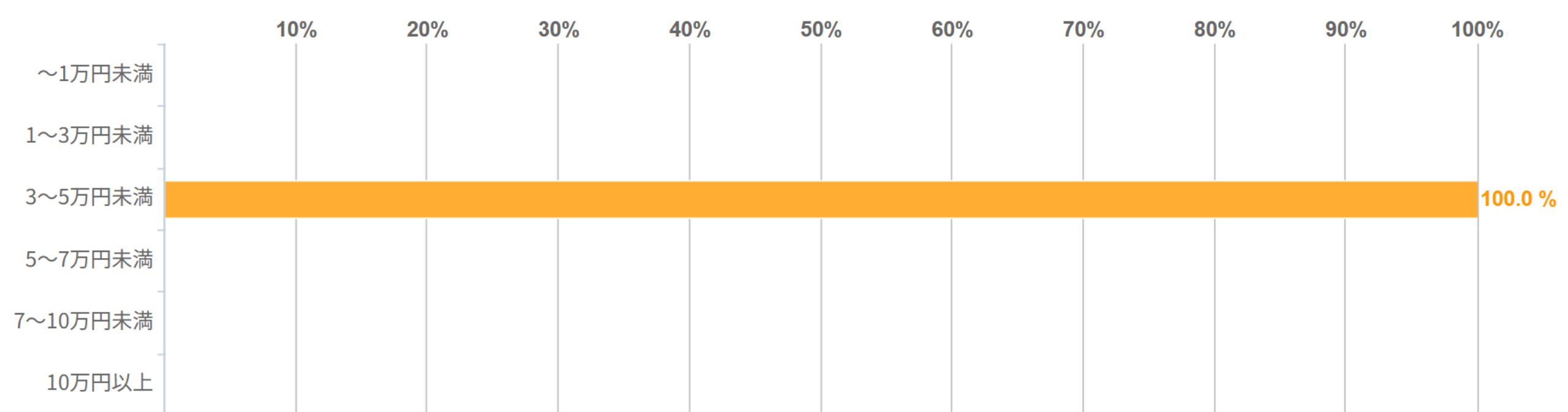
建設業



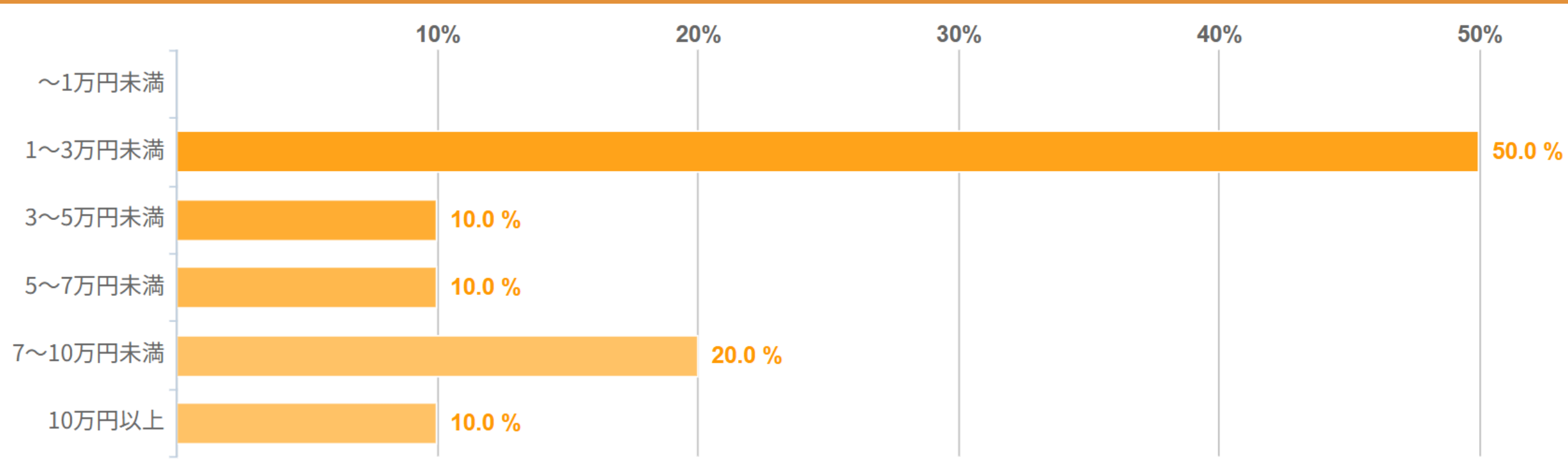
運送業



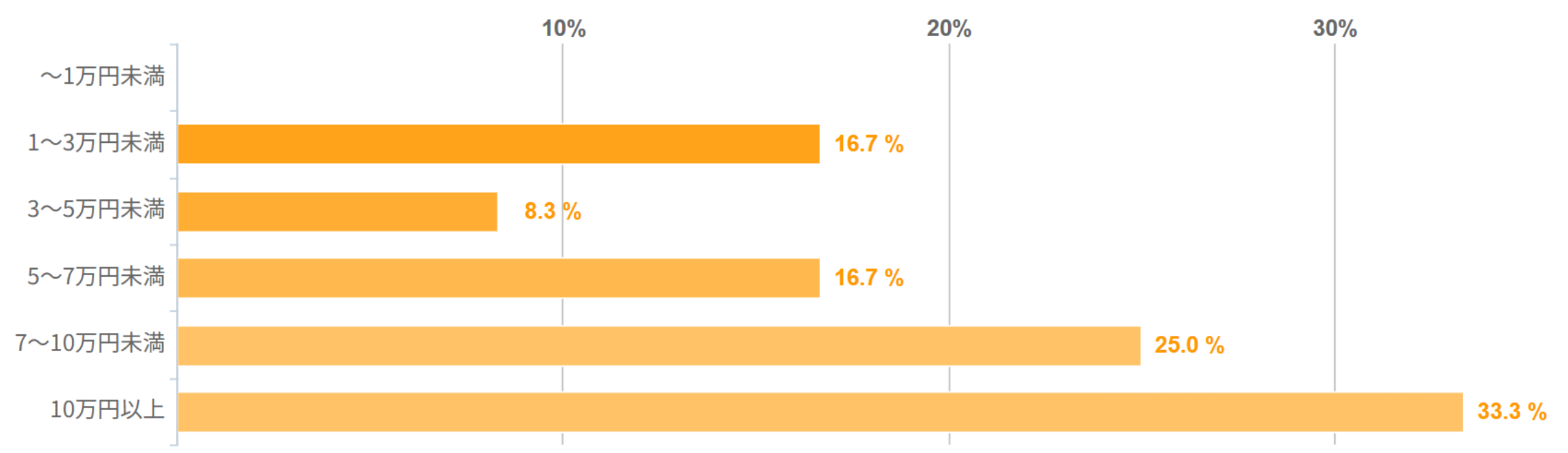
不動産業



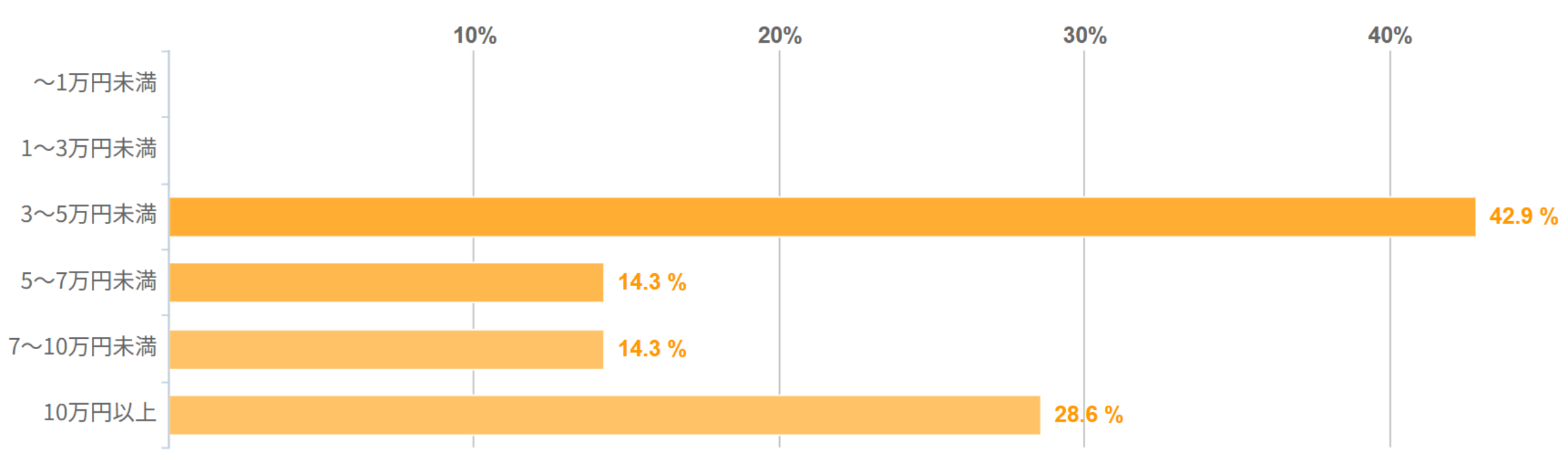
WEBサービス業



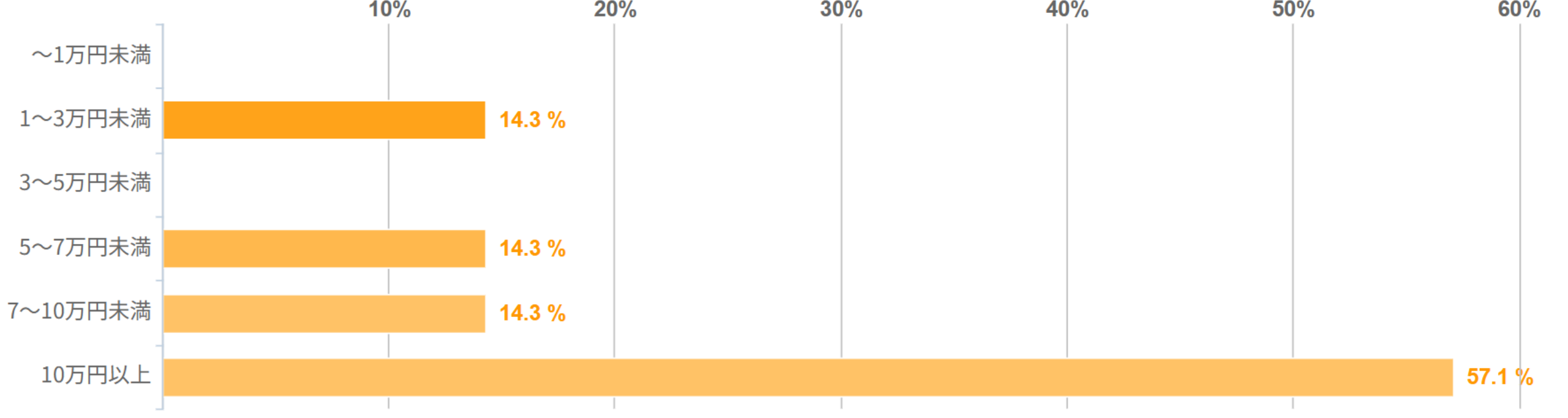
医療業・福祉業



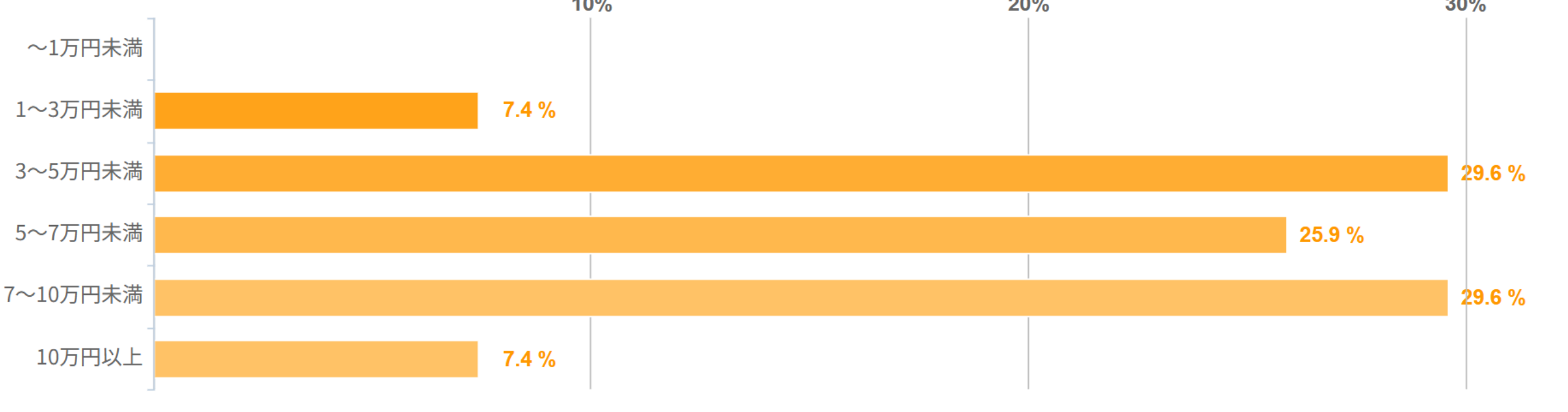
専門家(士業・FP・コンサルタント)



個人投資家



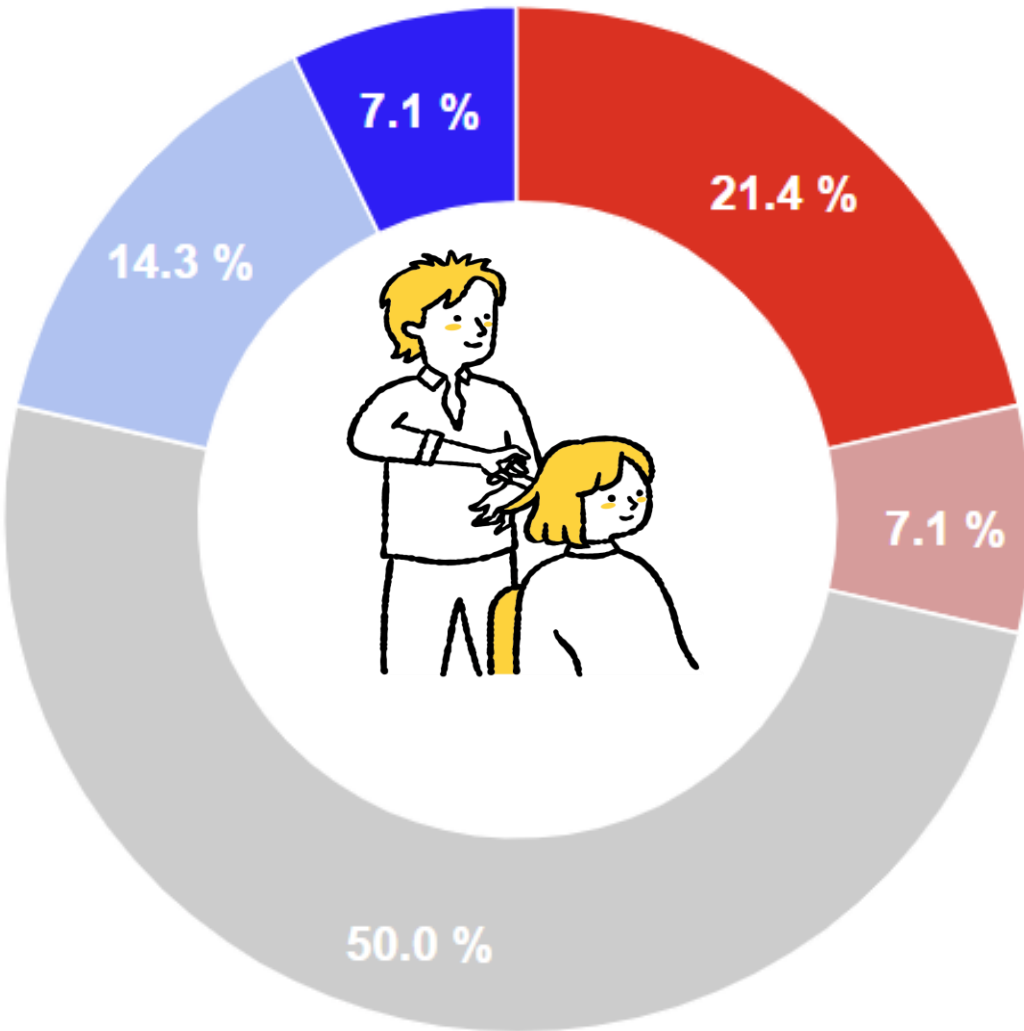
その他



ふるさと納税の控除額の計算

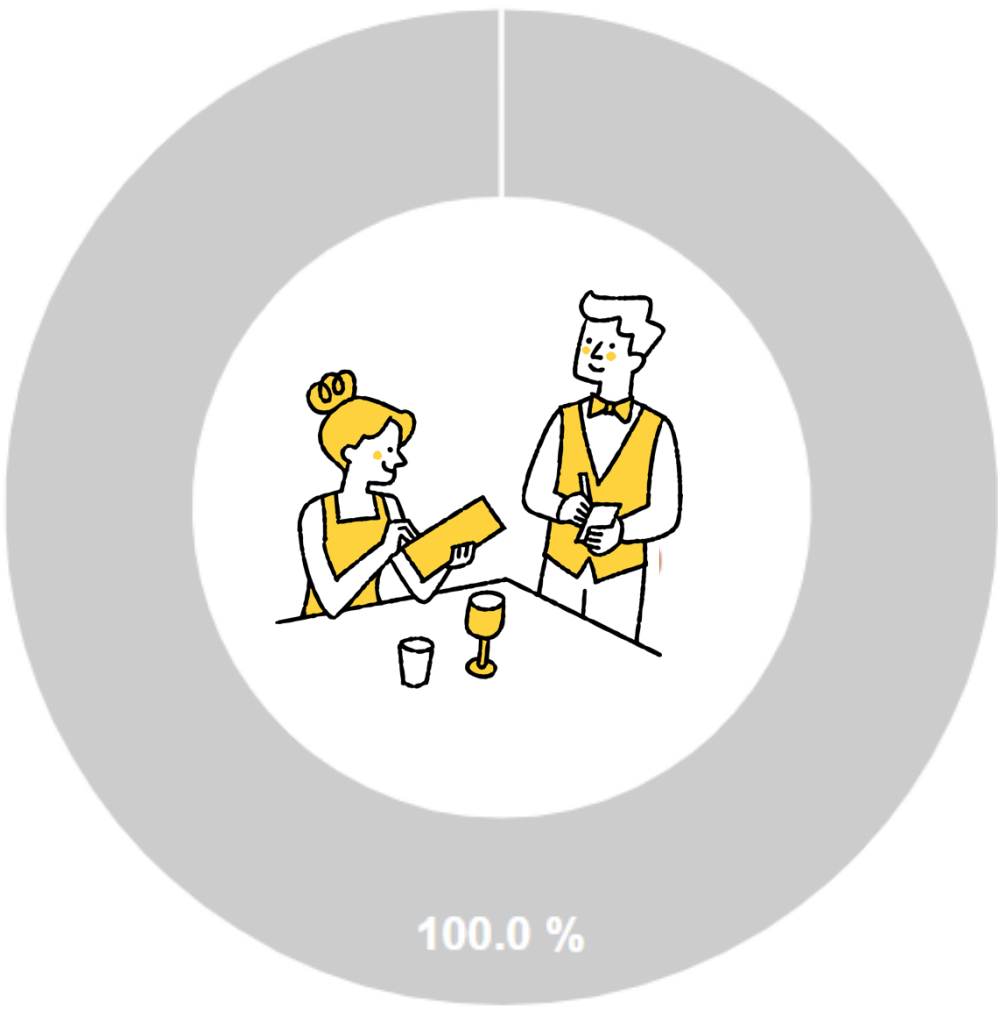
－ふるさと納税の控除額の計算が簡単だと感じますか？

▼ 美容業

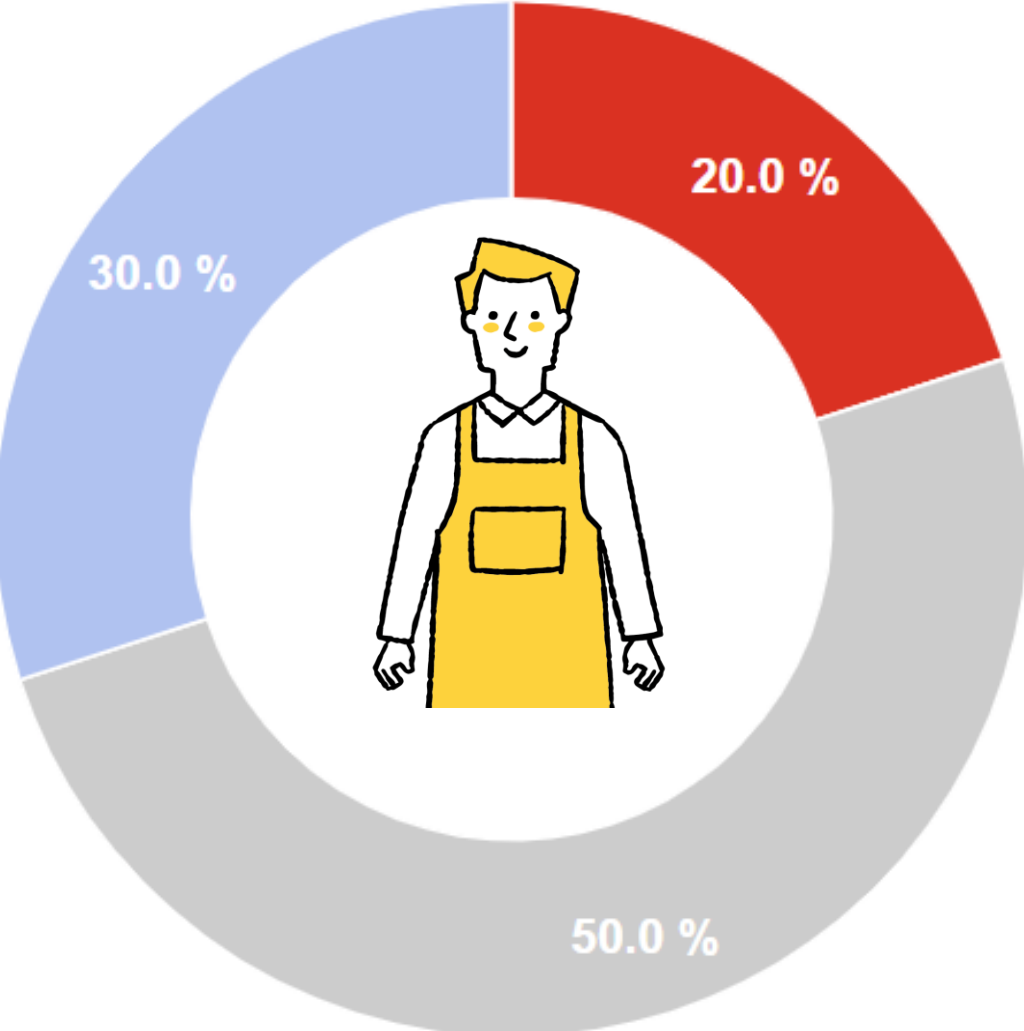


とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

▼ 飲食業

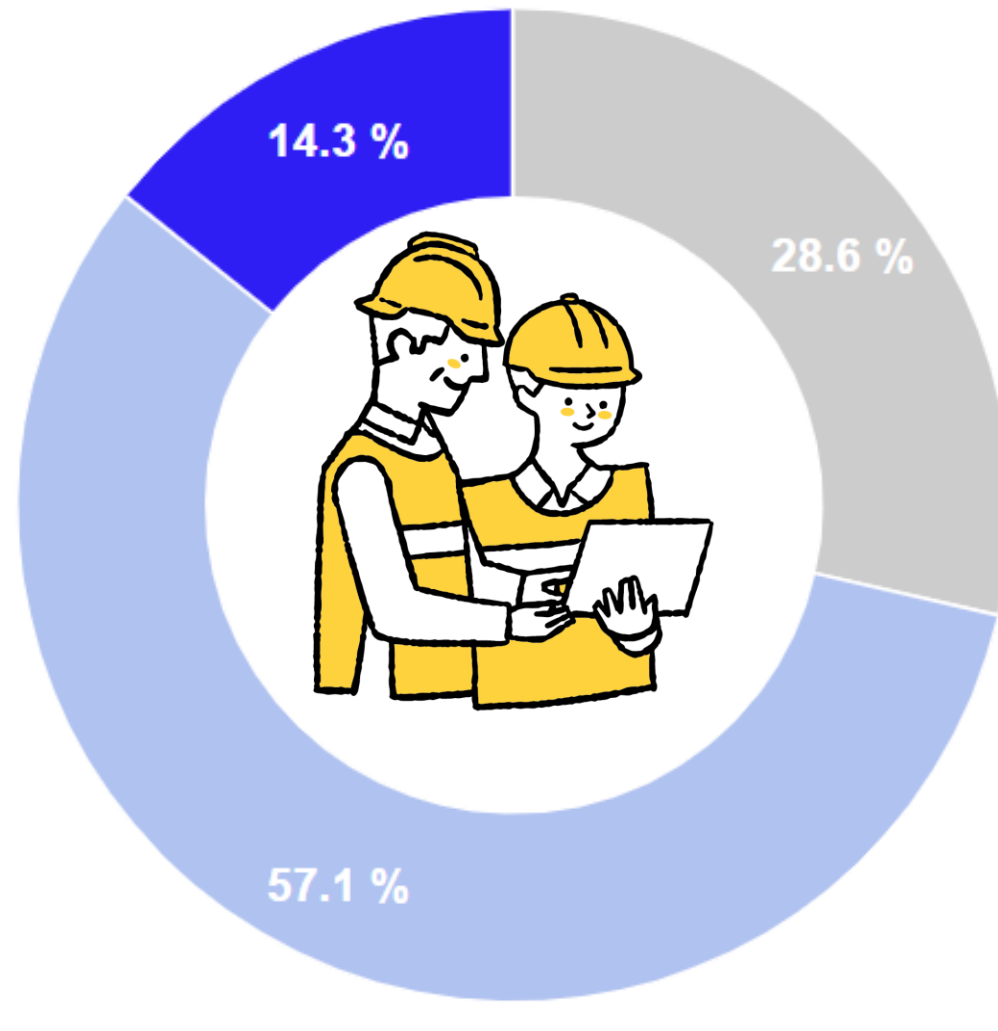


▼ 小売業

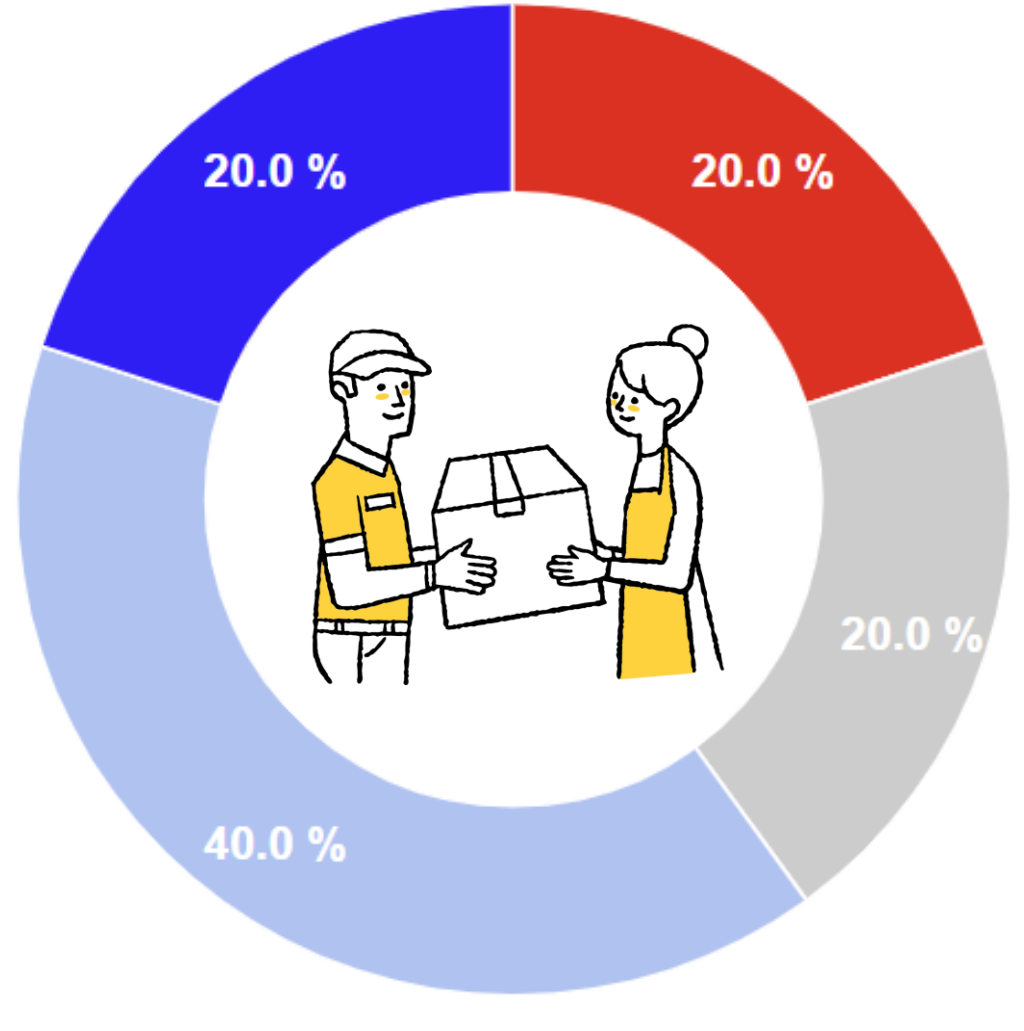


とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

▼ 建設業

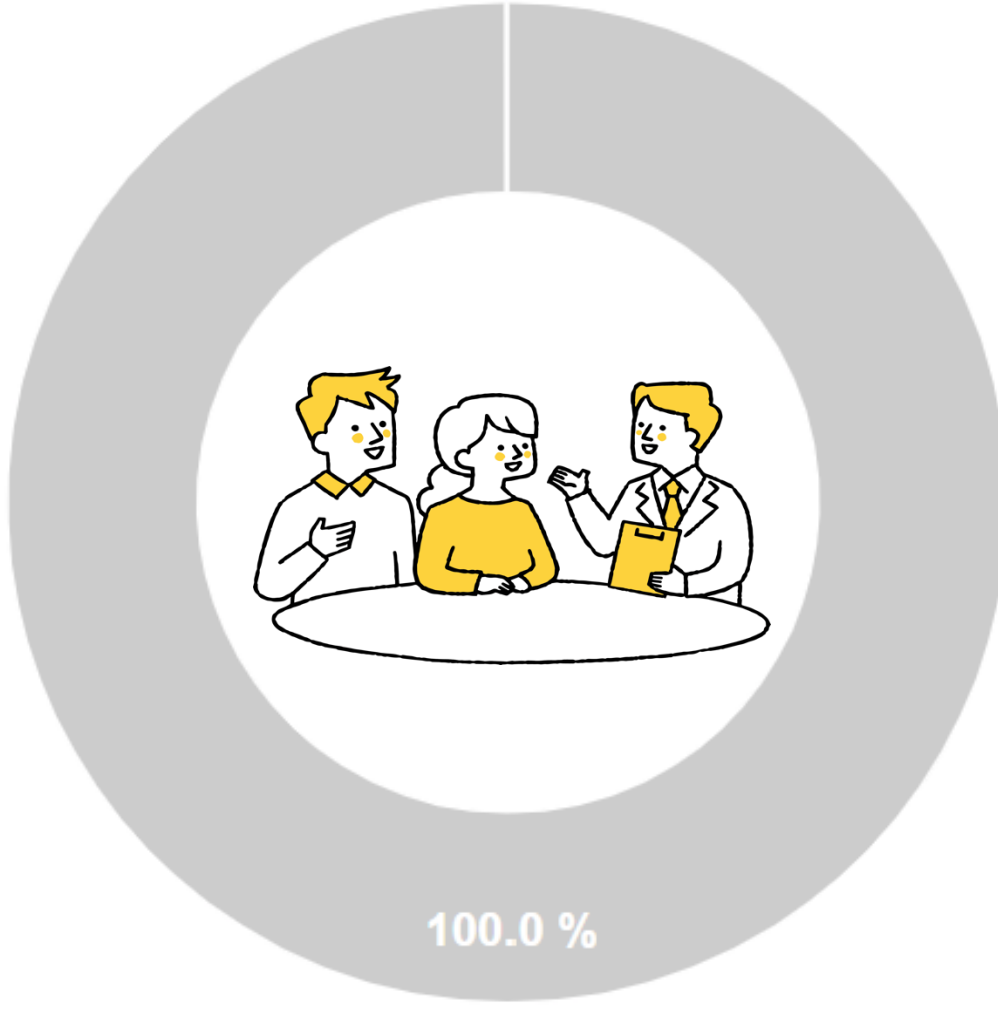


▼ 運送業

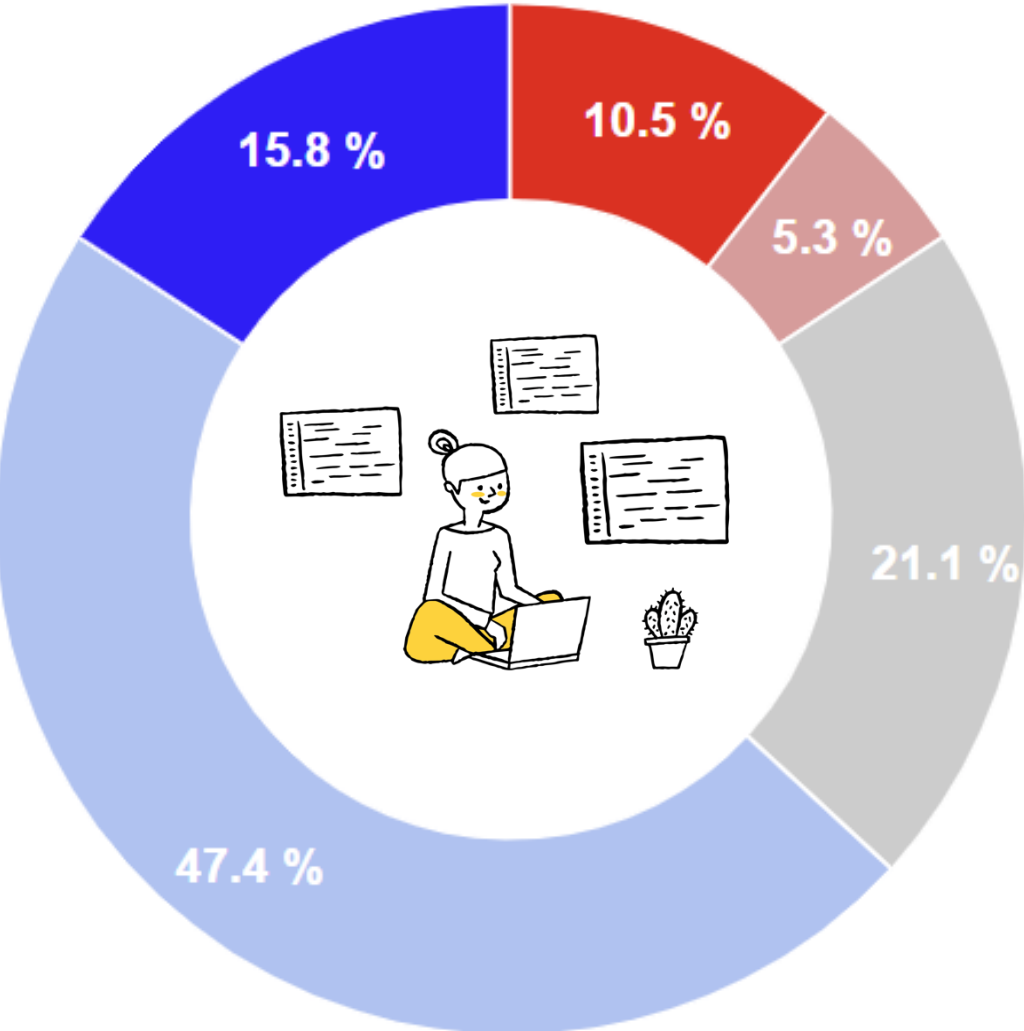


とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

▼ 不動産業

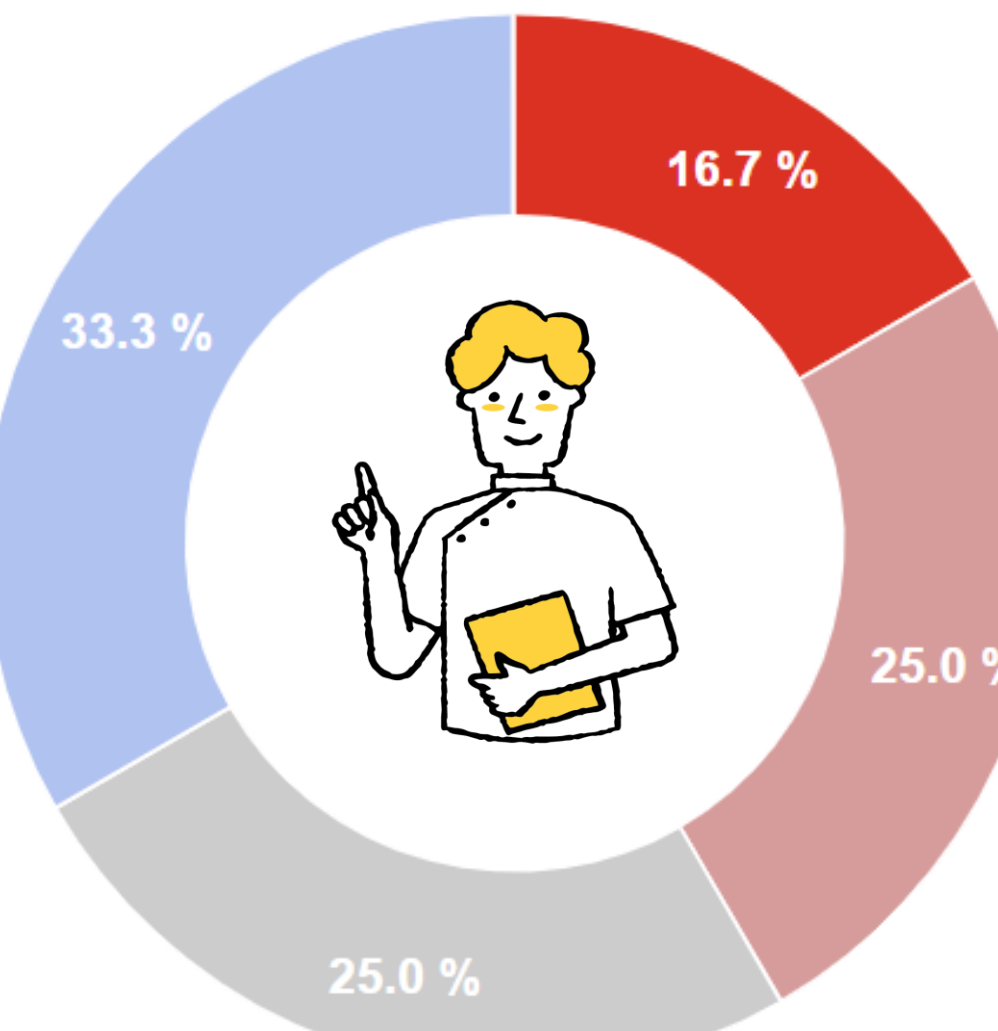


▼ WEBサービス業

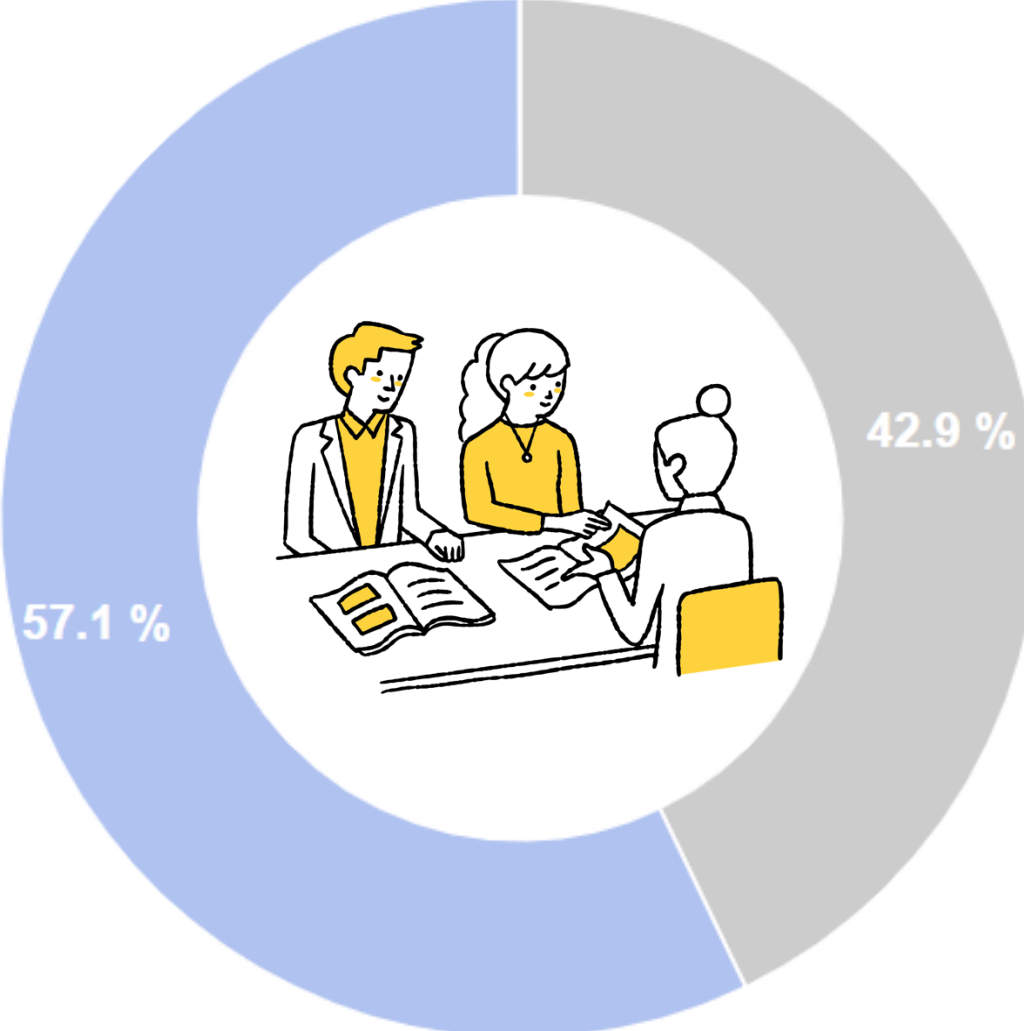


とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

▼ 医療業・福祉業

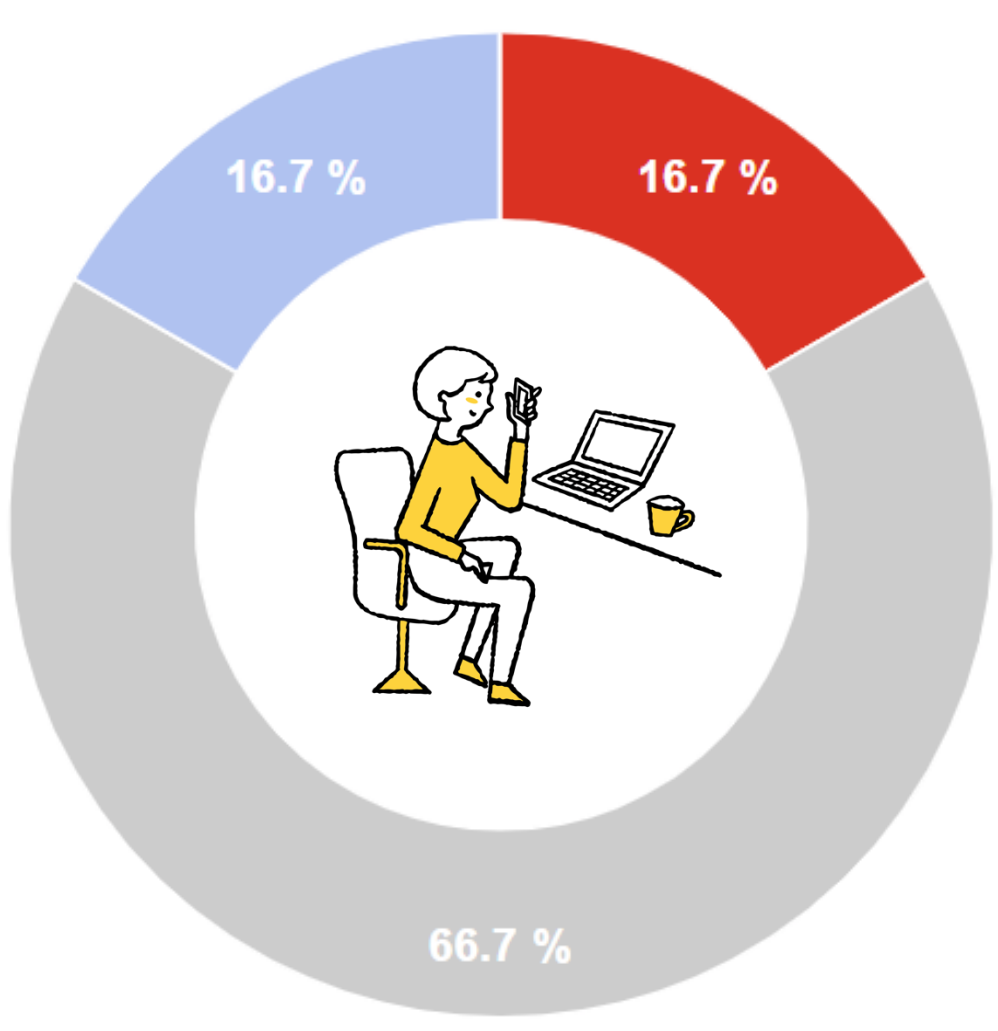


▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

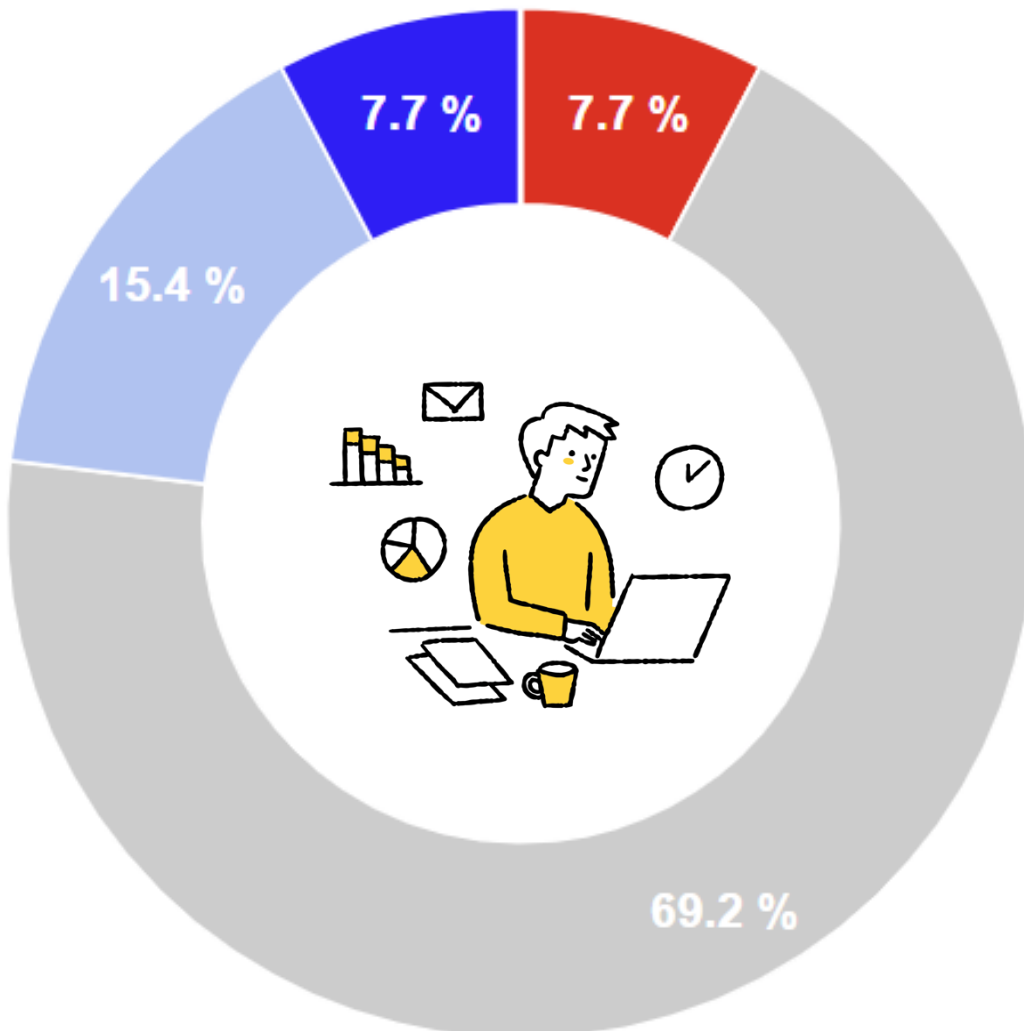


とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

▼ 個人投資家



▼ その他



とても簡単 やや簡単 普通 やや難しい とても難しい

返礼品ベスト3

ー今までで良かった返礼品ベスト3を教えてください。
今年初めての方は今年分の暫定でOKです。

美容業

1位

- 肉
- ほたて
- お米
- iPad
- ヘラクレスオオカブト
- 日用品
- トイレットペーパー
- ボックスティッシュ
- ティッシュ
- サケ
- お米
- サーモン

2位

- 果物
- うなぎ
- もつなべ
- 鮭の切り身
- 蟹
- ニジイロクワガタ
- 食べもの
- ティッシュ
- ビール
- シャインマスカット
- 牛肉
- 魚
- お肉
- ホタテ

3位

- エビ
- いちご
- チョコレート
- カニ
- 肉
- 食べもの
- 牛タン
- みかん
- 果物
- 魚
- 米

飲食業

1位

- 佐賀牛

2位

- 佐賀チーズケーキ

3位

- 佐賀のコメ

小売業

1位

- お米
- 肉
- アラジンのトースター
- みかん
- とうもろこし
- トイレットペーパー
- ハンバーグ

2位

- お肉
- 果物
- 魚
- アラジンのストーブ
- 焼肉
- みかん
- ティッシュペーパー
- ハラミ
- 食事券

3位

- 魚
- 生活雑貨
- 貝
- ささみの燻製
- 豚肉
- 肉
- 夕張メロン
- 缶チューハイ
- 地域の商品券

建設業

1位

- 米
- うなぎ

2位

- 牛肉
- 肉
- 海産物
- シャインマスカット

3位

- 果物
- 魚
- 肉
- ホタテ
- 魚介
- 野菜

運送業

1位

- 福井県坂井市の厚揚げ
- 米
- 鮭
- 別海町冷凍ほたて

2位

- 鹿児島県霧島市の鶏刺し
- 肉
- 駐車券
- 干物盛り合わせ
- 白糠町冷凍鮭いくら

3位

- 熊本県あさぎり町赤身馬刺し
- クーポン
- 無
- 豚肉
- オホーツクほたて

不動産業

1位

- タラバガニ

2位

- リンゴ

3位

- 牛肉

WEBサービス業

1位

- 米
- ゆめぴりか5kg
- ティッシュペーパー
- さつまいも
- かに
- いちご
- 海鮮物系
- トイレットペーパー
- ビール
- さつまいも
- 果物
- 豚肉
- いくら
- まぐろ
- スイーツ

2位

- 肉
- ウォーターサーバーレンタル
- サーモン
- 米
- 牛肉
- 牛タン
- 日持ちするドリンク系
- ティッシュ
- 水
- 旅行券

3位

- 魚
- エンペラーサーモン900g
- レジャー施設入園券
- トイレットペーパー
- ほたて
- ズワイ蟹
- コンタクトレンズの洗浄液
- ティッシュペーパー
- シャインマスカット
- 牛肉
- 地域の野菜セット
- 日用品
- お米
- いちご
- ハンバーグ

医療業・福祉業

1位

- さくらんぼ
- トイレットペーパー
- シャインマスカット
- 肉
- PayPay
- ワックス
- 豚肉
- 海鮮
- うなぎ5尾 志布志市
- 鮭
- かつお

2位

- デラウェア
- ティッシュペーパー
- いちご
- トイレットペーパー
- レーズンバターサンド
- お盆
- お米
- 果物
- ホタテ
- 焼き鳥6種72本セット
- ハンバーグ

3位

- 18雑穀米
- 観葉植物
- 巨峰
- 洗剤
- ジュース
- 鍋
- 野菜
- お肉
- アグー豚
- ボックスティッシュ60箱
- タイ

専門家(士業・FP・コンサルタントなど)

1位

- いくらとホタテのセット
- カツオのたたき
- ホタテ
- オリーブオイル
- うなぎ
- 酒類
- 宿泊チケット

2位

- 福岡県篠栗町のマグロ
- ホタテ
- りんご
- 海産物
- からあげ
- 食料品
- 肉

3位

- 愛媛県八幡浜市のカンペイ
- 真鯛
- カニ
- ティッシュ
- カレー
- 日用品
- 米

個人投資家

1位

- 焼肉の食事券
- 牛肉
- サーモン
- シャインマスカット
- 米

2位

- 牛タン
- ぶどう
- いくら
- ピオーネ
- 肉

3位

- お米
- ホタテ
- 巨峰
- クーポン(旅行等に使える)

その他

1位

- お米
- 多治見焼
- 焼き鳥
- 宮崎県産豚肉
- トイレットペーパー
- 芋焼酎
- ヨギボー
- レーダー探知機
- かつお
- うなぎ
- ハンバーグ
- みかん
- いくら
- バター
- サーモン
- ティッシュペーパー
- 本棚
- シャインマスカット
- 毛布
- 鹿肉
- 本棚

2位

- 博多明太子
- マンゴー
- 馬刺し
- 宮崎県産鶏肉
- 果物
- 豚肉切り落とし冷凍
- 米
- ドラレコ
- ティッシュ箱
- たらこ
- 日本酒
- 牛肉
- ホタテ
- 豚肉
- テンピュール
- 鰻
- 野菜
- タオル
- みかん
- 貝柱
- ソーセージ詰め合わせ

3位

- かつおたたき
- 牛肉
- 蟹
- 佐賀牛入り生ハンバーグ
- 肉
- 鶏肉冷凍
- ホタテ
- ハンバーグ
- ビール
- 米
- 鮭
- りんご
- お菓子
- シーチキン
- 安田ヨーグルト
- もつ鍋
- いくら
- ソーセージ
- イクラ
- 唐揚げ
- 甘海老
- 味噌

ふるさと納税の改善点

ーふるさと納税の手続きで負担に感じる点や、
もっと簡単にしてほしい点があれば教えてください。

美容業

- 控除額の計算が分かりずらいので、分かりやすくしてほしい
- 控除額が曖昧なのでもう少し早く、きっちりギリギリまでできるように出してほしい
- 誰でもすぐに出来る身軽さがあったり、詳しく表記してくれる
- さとふるから品を選んでいるので負担はかんじない
- 他の受けれる控除など一括で計算してもらえるようにしてほしい
- 返礼品の種類が多くて、選ぶのが難しい

飲食業

- マイナンバーの利用で確定申告しないで済む様仕組みを作してほしい

小売業

- 本当に税金が減っているのか、番号で氏名住所が分かるようにしてほしい
- 上限額の計算方法がいまいちわかりづらくて難しい
- ふるさと納税の金額がどれくらいなのかがわかりにくい
- あくまでも予定収入額での金額計算になる部分
- 入力したが登録ができていないのかわからない
- ワンストップ特例対象の自治体が無制限になれば給与所得者はもっと気楽にふるさと納税できる
- マイナンバーと完全に紐付けられていれば確定申告が簡単になる

建設業

- 今年は始めたかったのですがシステムがわからず断念
- 限度額がいくらなのかが簡単にわかる計算方法にしたい
- いつ届くか予想ができない
- 確定申告での細かなパソコン入力作業
- 選ぶ際に品がありすぎてどれが1番良いのかわからなくなる

運送業

- ポータルサイトや自治体から、住民税の控除状況を分かりやすく確認できるサービスがあると安心
- 計算方法が煩雑で分かりにくい
- 個人事業主の上限額をわかりやすくしてほしい

不動産業

- 楽天サイトで購入し、税理士さんに手続きを行って貰っているので負担は軽い

WEBサービス業

- 所得見込で計算するため、確定時にずれることがある
- 同じポータルサイトで寄付しているので、特に手続きで負担に感じることはない
- 自営業の場合の試算をもっと簡単にできるサイトが欲しい
- 枚数が多い場合、証明書の整理が大変
- 限度額の計算が複雑で、どのくらい寄付できるか時間がかかる
- 寄附金控除の証明書等の取り扱いが煩わしく感じる
- 確定申告する人でもワンストップ特例を使えるようにしてほしい
- 計算方法が複雑でわかりにくいので簡単にしてほしい
- 結局、自分はいくらまでふるさと納税していいのか明確にわからない

医療業・福祉業

- クレジットカードでしか支払えない物の改善
- 本人名義以外のクレジットカードも使える様にして欲しい
- 個人事業主は利益の確定が難しく、ふるさと納税可能額の試算が大変
- 負担額が分かりにくい
- ランキングをもっと細かいものにしてほしい
- 確定申告時の書類作成や入力が面倒くさい

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 限度額のシミュレーションが給与所得者向けになっている
- 問題は寄付限度額の推定

個人投資家

- 年内の所得が確定していない状態で納税する必要がある点
- 初めての利用者にとって、仕組みや税控除の計算方法が分かりにくい
- ふるさと納税の限度額の計算が分かりにくいので簡単にしてほしい

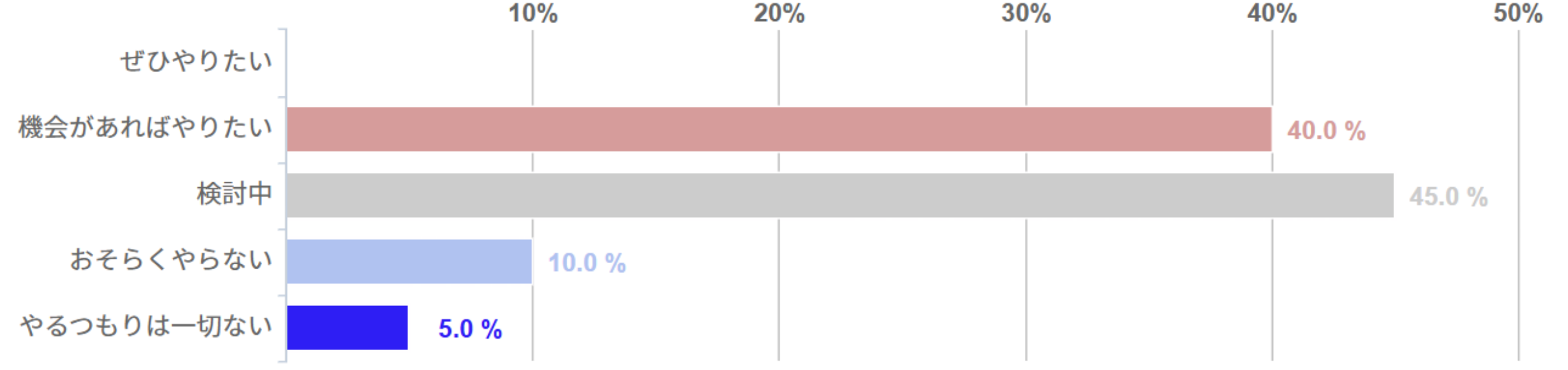
その他

- 控除証明書の保管が面倒だったため、電子化してほしい
- 楽天ポイントを貯めるのに便利だったが、来年からは使えなくなりそう
- 最後まで収入や経費がいくらになるのか確定できないので計算が面倒
- ざっくり年収で幾らまで控除になるか買う時に表記してくれてたら、楽
- サイトがばらばらに重複しているのでまとめてあったらもっと楽
- 控除限度額の計算の仕方がいまだにわからない
- ふるさと納税に関するサイトがいくつかあって比較しやすいといい
- 地方自治体ごとに対応のばらつきがある
- いくら控除になるのか、個別個別でシュミレーションしてくれると助かる

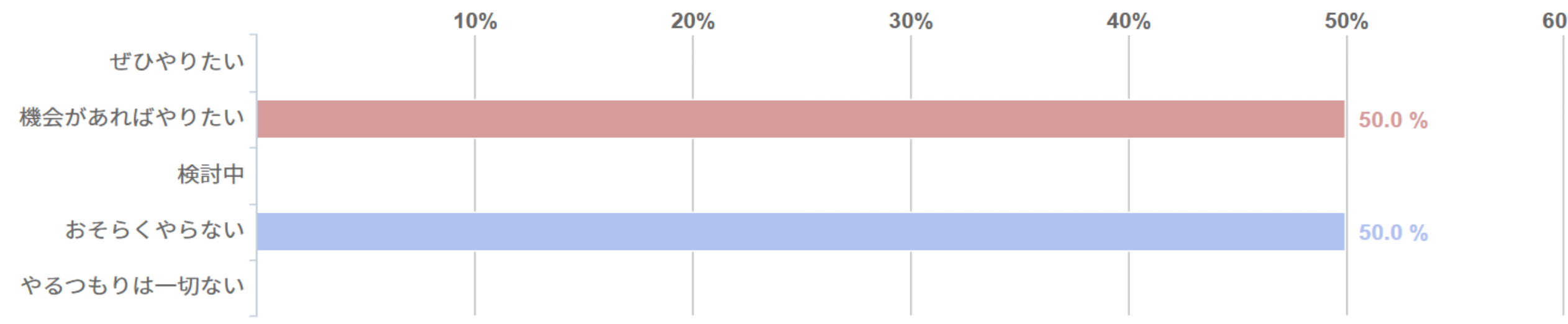
ふるさと納税利用の意欲

－今後のふるさと納税利用への意欲を教えてください。

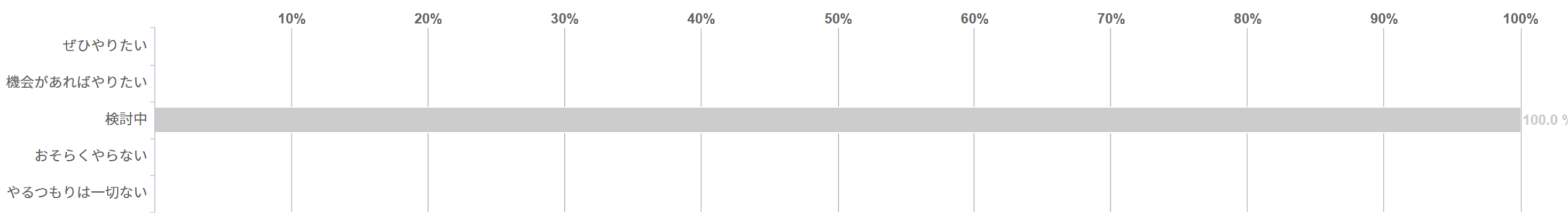
美容業



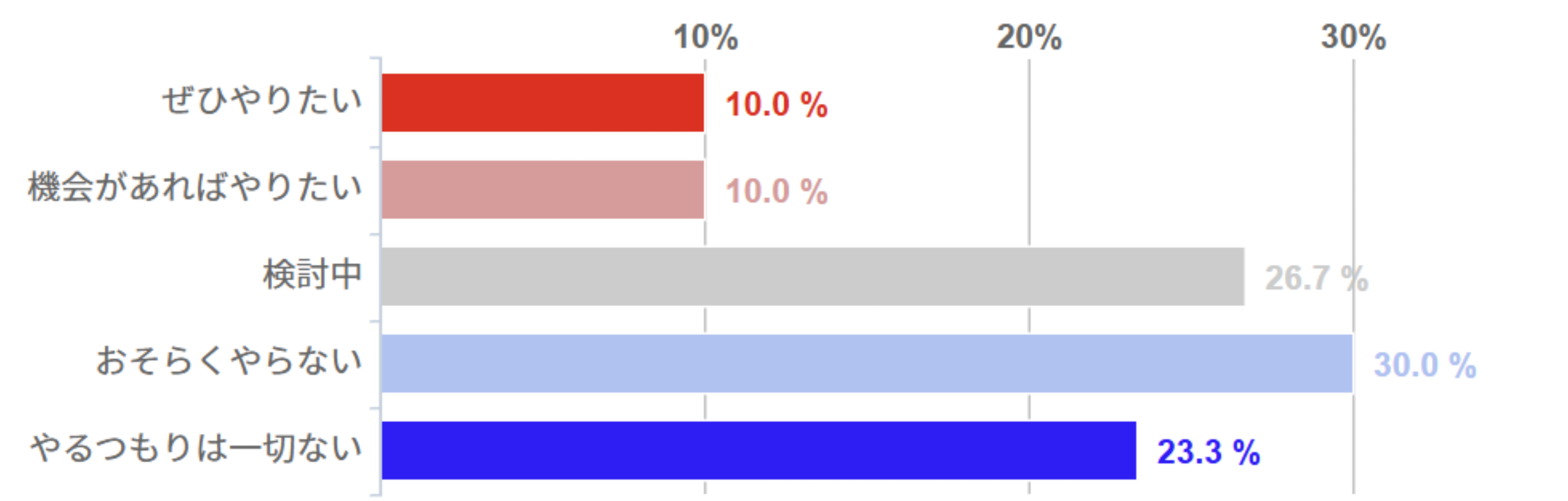
飲食業



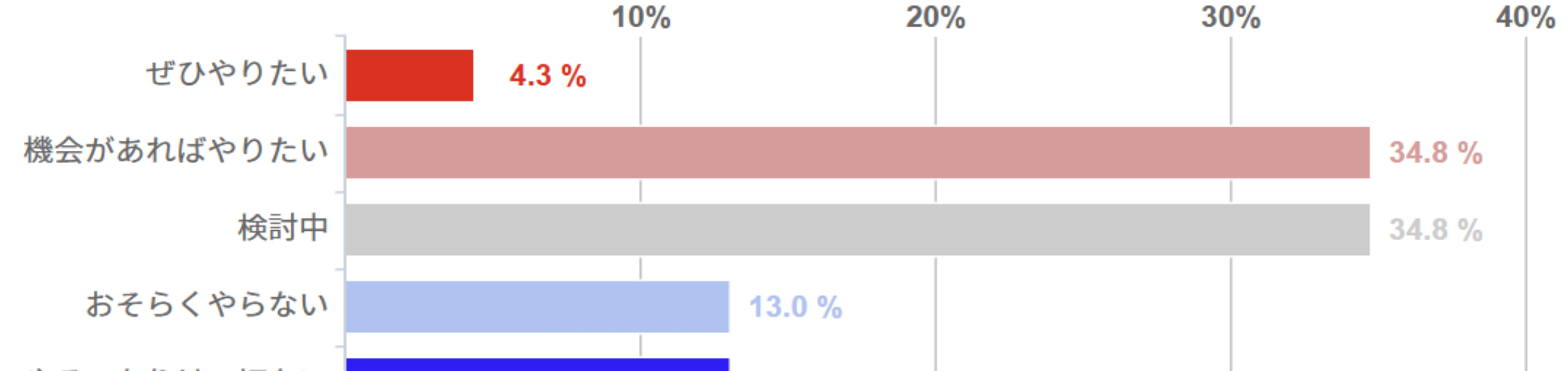
小売業



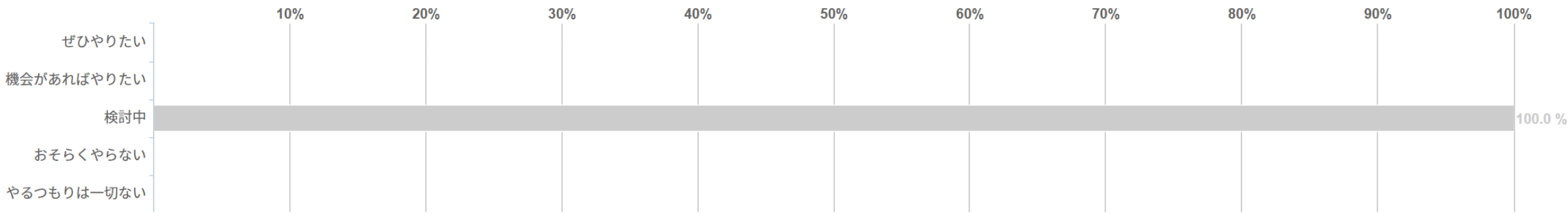
建設業



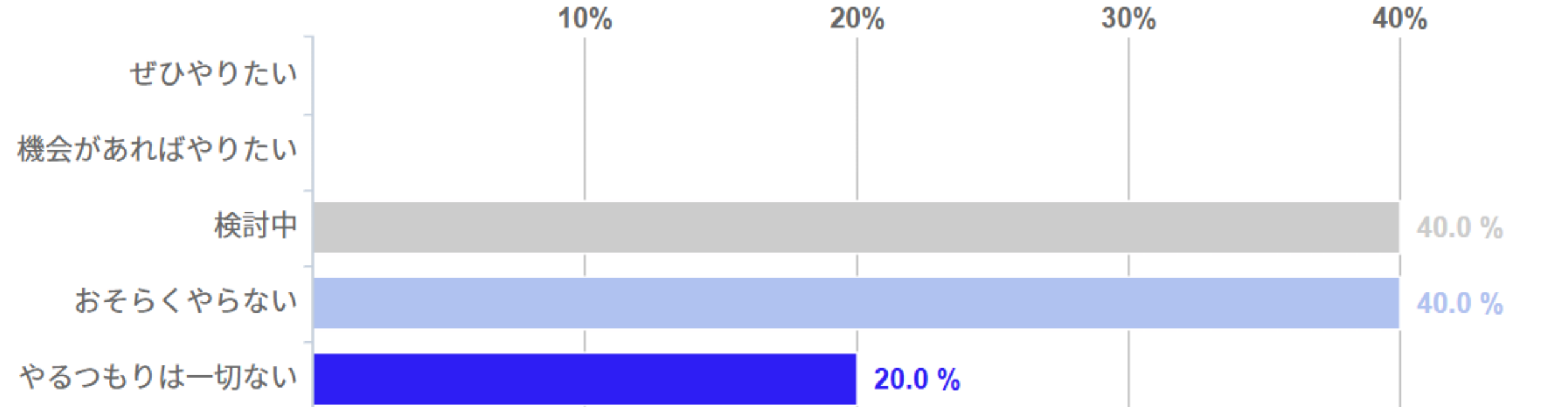
運送業



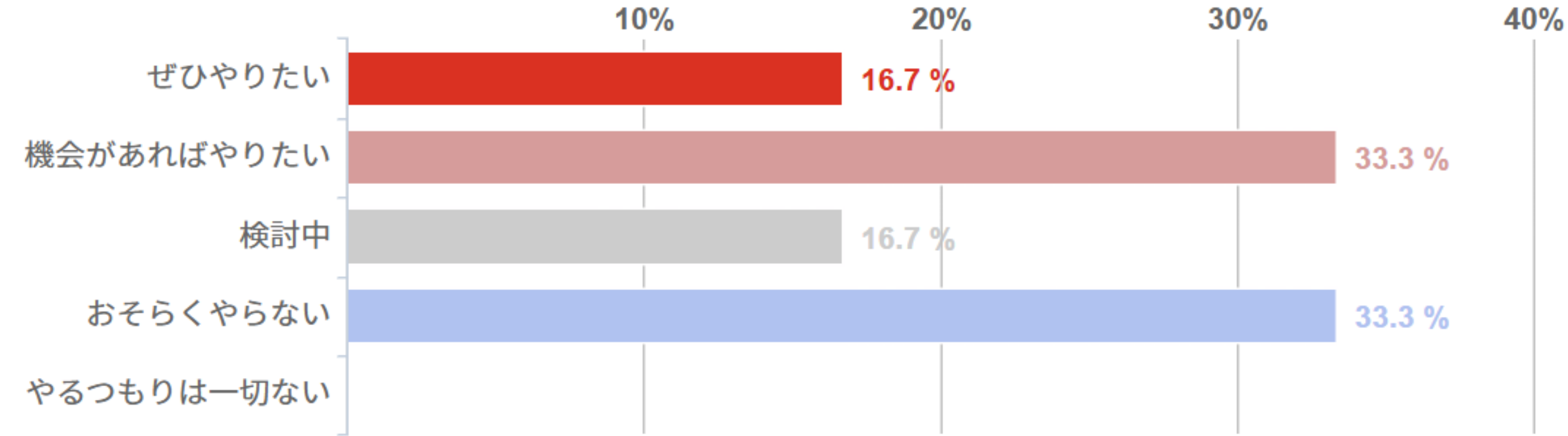
不動産業



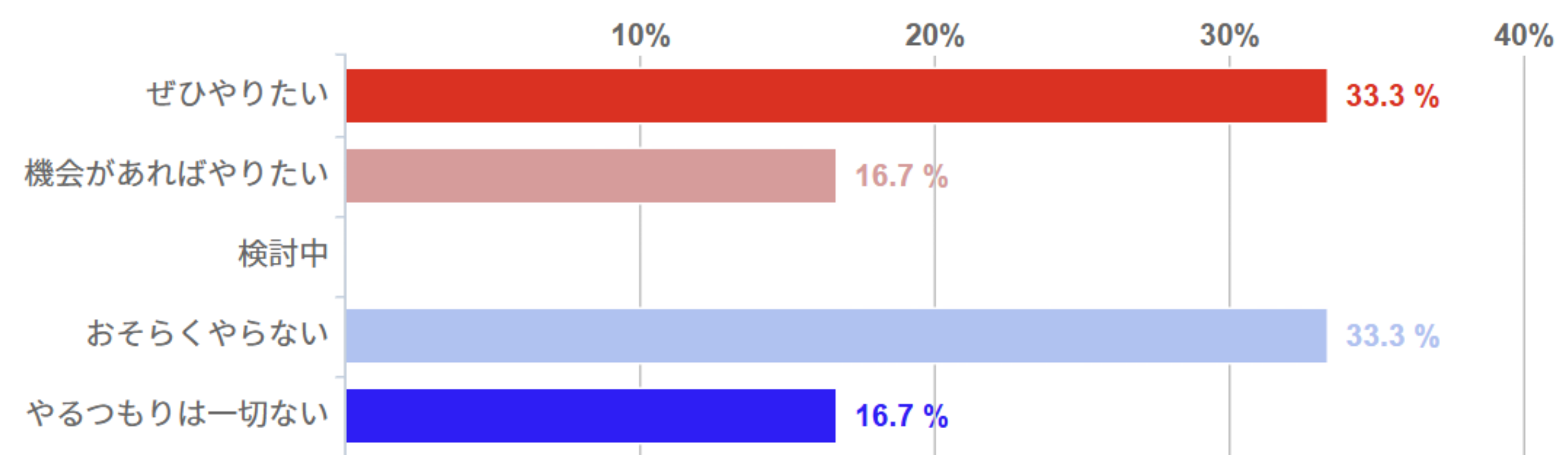
WEBサービス業



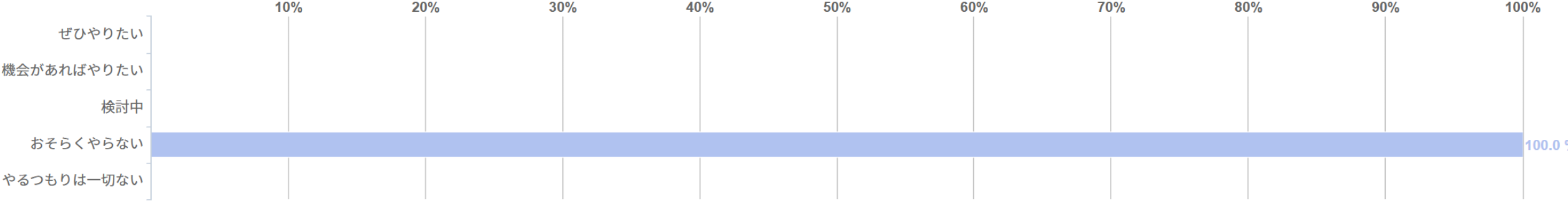
医療業・福祉業



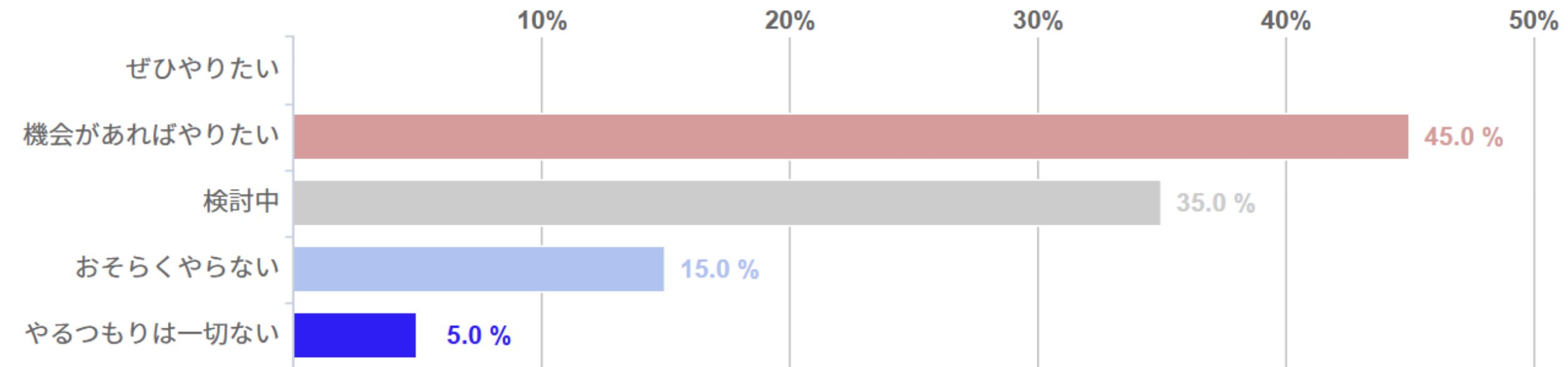
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



その他



ふるさと納税を利用していない理由

－ふるさと納税を利用していない理由を具体的に教えてください。

美容業

- やり方がわからないからやってなかった
- 今特に欲しい返礼品がないため
- 何となくめんどくさくてやる必要もそんなにないため
- 所得がマイナスになっているので必要があればしていきたい
- 得にこれといって興味がなかったので詳しく調べたり今までしてこなかった
- テレビや、周りの人達がしているのだから、めんどくさいが勝ってしまう
- 正直どちらでもよく、しても良いとは思いますが別にする必要もないと思うから
- やり方がいまいちよくわからない事と、選んだり、どれがいいのか考えるのが面談だから
- ふるさと納税を行うことでどれだけ税金が控除されるのかが明確に理解できない
- もっと売り上げが上がって、やる必要があるようになったらやりたい

飲食業

- 仕組みをよく理解していないし、ふるさと納税に割く時間が取れない
- 制度の使い方、手続きが面倒だと思っていたので使わなかった
- 仕組みやメリットをよく理解していない

小売業

- 調べたことがないので
- 損した気分になるから

建設業

- 住民税の正確な額がわからない
- 返礼品にあまり魅力を感じない
- 仕組みがわからないのと、メリットデメリットがわからないし手間
- やり方がいまいちわからない
- 自分のふるさと納税が出来る金額が解らないので、利用してない
- 節税対策に良いと聞きますが、内容をよく理解していない為、利用できないでいる
- 気にはなっているけどふるさと納税を利用するだけの金銭的な余裕がない
- システムがよくわからない為、良さがわからない
- 毎年確定申告をする時に控除できるものが多いので税金がかかっていない
- 仕事が忙しくタイミングが 合わなかったや、商品を悩んで選びきれなかった

運送業

- やることによるメリットがいまいちわからない
- マスコミによるマイナスイメージ
- ふるさと納税はいろいろあって選ぶのに時間がかかると思って考え中
- 自分がすんでいる自治体にそのまま税金を納めたいから
- 単に先に出す資金がない
- 今期の収益が確定していないため、ふるさと納税額を決めかねている
- 節税効果をあまり感じないことと、購入したいと思う商品がない
- よく内容を理解していないのといまいちやり方がわからないため利用していない
- 現在の売り上げが、経費や他の控除で相殺できる為

不動産業

- 転職したてなので、現在の収入が多くない
- 特に必要性を感じていない

WEBサービス業

- 手続きが面倒であり、居住している市区町村への納税を優先したいから
- 手続きなどの面倒さや煩雑さとの費用対効果が別に合いそうにないから
- 現金が減るから
- どの自治体に寄付すればいいのかわからない
- 控除を受けるための書類（確定申告やワンストップ特例制度）の手続きが面倒
- 色々と制限があり面倒

医療業・福祉業

- 返礼品目当てで、ふるさと納税をする意味がわからない
- ふるさとに住んでいるのする必要もない
- 地元で納税するようにする為に、今のところ、ふるさと納税は考えていない
- 節税効果がどれくらいあるのかわかりにくい
- 商品選びが面倒なのでサイトを見たことがない
- 魅力を感じていない
- 今年度は売り上げが赤字のため、ふるさと納税を利用するメリットがない
- 制度にそもそも関心が無い

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 制度もメリットも理解しているがそこに金銭をという気持ちにならなかった
- 経費枠活用での税制枠対象が現状では見合っていない枠外とかがえている
- ふるさと納税はやればいいと思うが面倒で やった事がないし、特別経費にもしたくない
- 興味があり、利用したいと思うのですが、詳細情報を掴めてなく始められていない
- フルコミッションの業界で働いていることにより収入に対する課税額が確定申告により決まるから
- そこまでの収入がないから
- このステムを使う立場に該当していないから

個人投資家

- 制度の中身がもう一つよくわからない
- どれほどのメリットがあるのかわからない

その他

- どんなものがあるのかをチェックしていない
- 制度そのものを良く理解していなく、利用しないで来ても、不便を感じないから
- 今は節税しなくても対応できるため
- ふるさと納税を以前しましたが、品物が送ってくるのが遅かったから
- 仕事に打ち込んでいて、ゆっくり検討する機会がなく、考えたことがない
- 引越しなどで忙しく、選ぶことがめんどくさいと感じたのでやってない
- 今住んでいるところへの納税でよい
- 返礼品に特に惹かれるものがなかった
- 来年度の市民税の金額がわからず、ふるさと納税の枠が計算できない
- 時間的に余裕がなかったため利用していなかったが、余裕ができたなら検討したい
- 詳しい内容を把握できていないので 例年どうり納税しているのが現状

ふるさと納税を利用するために期待する変化

ー現在のふるさと納税の制度や方法が、どのように変われば利用しようと思いますか？

美容業

- もっとわかりやすく、やりやすくなれば
- 以前のように、返礼品が魅力的になっていけば再開してもいい
- 人によって上限が違うのでわかりやすくしてほしい
- 一回試してみて簡単そうなら、毎年しそうな
- 義務化されればしなければならないがそうでなければ変わらない
- もっとシンプルに出きるといい
- 私に合った返礼品はこれですなど、分かりやすく簡単にできるようになると利用する
- 返礼品が、自分にとって魅力的でなく、ニーズがあれば考える
- 返礼商品が選びやすくお得感を感じられるようなサイトシステムになると良い
- 税金的に使ってもよくなったら使っていきたい
- もうすこし還元してほしいのとやって良かったと思えるような内容
- 自分で色々調べるのが面倒だから、手順とか品とか分かりやすく書いてある冊子とかほしい

飲食業

- 税制優遇が増え、手続きが簡単になれば利用を検討する
- 自分がどれだけ寄付できるのか？がわからない。分かりやすく説明があればします。

建設業

- わかりやすくなればと手間がかからないようにしてくれたら利用したい
- 説明がわかりやすいサイトやアプリがあれば利用する
- 商品が増えればいい
- ふるさと納税をするだけで、例えば所得税とか半減されたりすると魅力があります
- もっとふるさと納税の仕組みなどメリットとデメリットをもっと詳しく公開されるといい
- 全然ふるさと納税がどんなものかわからない為自動でやってくれたら
- なんでももっと分かりやすく簡単に家からできれば、利用する

運送業

- もっと手軽に、もっと簡単に！
- やることによるメリットをもっと明確にして欲しい
- 自分が住んでいる自治体が子どものために税金をよりよく使用してくれること
- 後払い
- 控除限度額を前年度収入を参照し、年初には額が確定していると利用しやすい
- 利用することによって、もっと節税効果が得られたり、対象商品が増えたら利用する
- もっと少ない金額でもできるようにしてくれればするかもしれません
- 説明動画などがSNSなどに頻繁に更新されれば見る機会が増えるので行いやすい
- 納税する地域と返礼品を分離する

不動産業

- 楽天ポイントがつく形のものが、来年からできなくなるのは非常に残念

WEBサービス業

- 手続きが簡易的であり、節税できている感覚をより実感できるようになったら利用したい
- 贅沢品や嗜好品を購入ではなく、サービスなど必需品の利用で使えるなら検討する
- ふるさと納税の支払額がそのまま収める税金に変われば利用したい
- マイナンバーカードやオンラインサービスを活用して、完全オンラインで寄付・控除手続きが完結
- 申請不要で自動的に控除が適用される仕組み
- もう少し分かりやすく、利用しやすい仕組み

医療業・福祉業

- 得する自治体と損する自治体があるので、何とか公平になれば良い
- 節税額の上限をギリギリまで撤廃する
- ふるさと納税が業者中抜き禁止にする

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 現制度でも大きな不満はないが返礼品は色々見てしまうので緩和してほしい
- 知識のない人にも仕組みがわかりやすくなっていると、手に取りやすくなる
- 自身の出身地以外、他府県の特産物を購入するのではなく出身地でお金を落とすべき

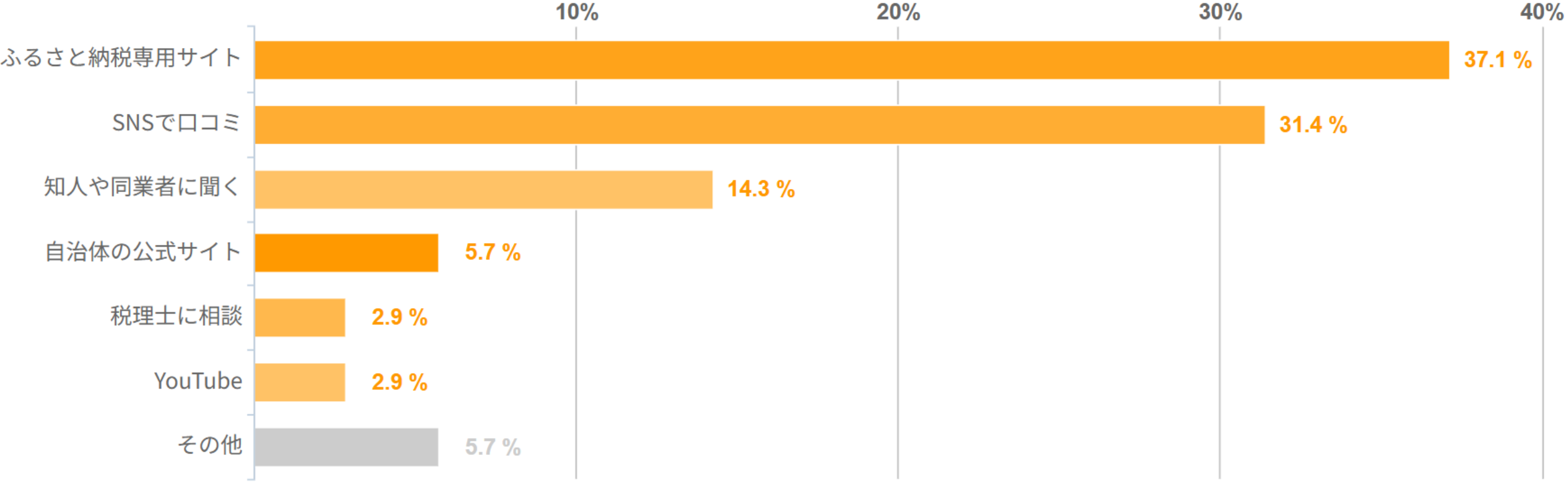
その他

- もっとみやすいところに載せたら情報が得やすくなれば良い
- 誰でも取り組めるようなシンプルな内容であれば良い
- 控除上限額の見直しや、所得に応じた控除率の調整などの所得が高い人ほど有利な仕組みの是正
- 復興目的での地域支援は限度があるが、もう少し引き上げれば、返礼品も増えて利用する
- 税金が確定してからどのように納めるかの方法として選べるようになったら利用する
- 制度や方法が、よりわかりやすくなり、手続きも簡素化するならば利用したい
- もっと手軽に身近に分かりやすく買い物ができるようになればいい

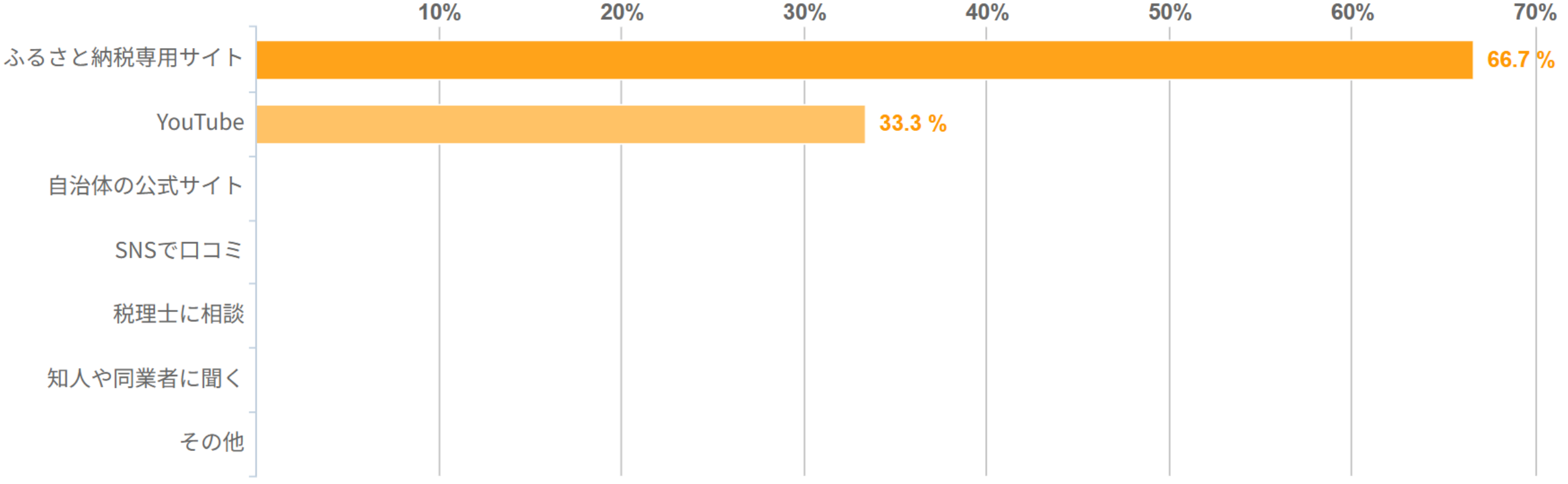
ふるさと納税に関する情報収集

ーふるさと納税に関する情報収集は主にどのように行っていますか？

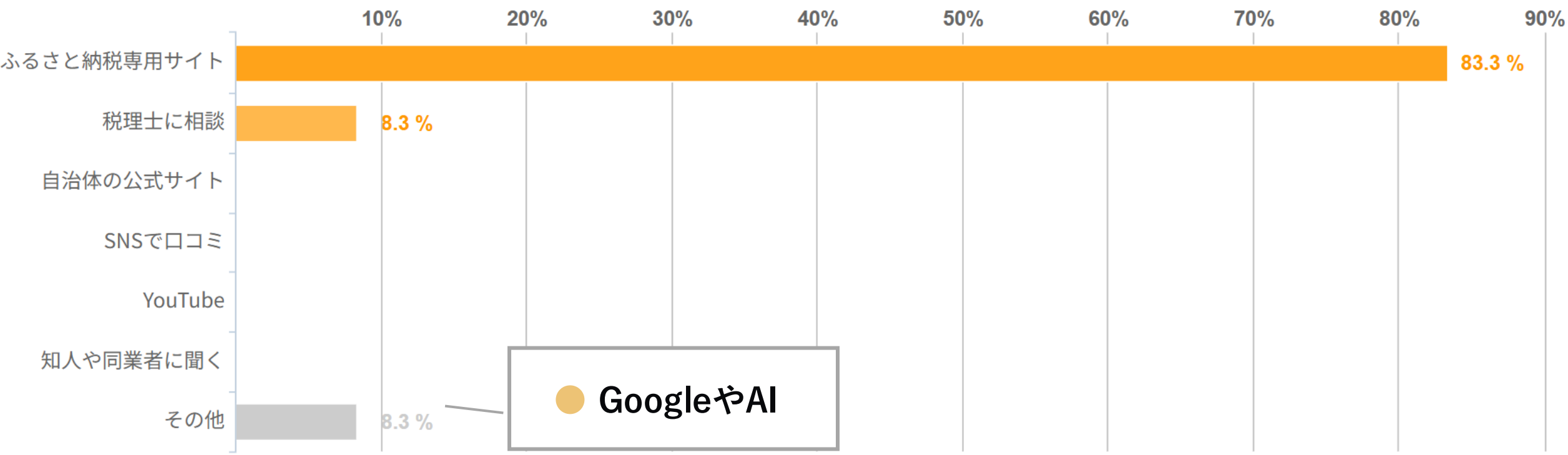
美容業



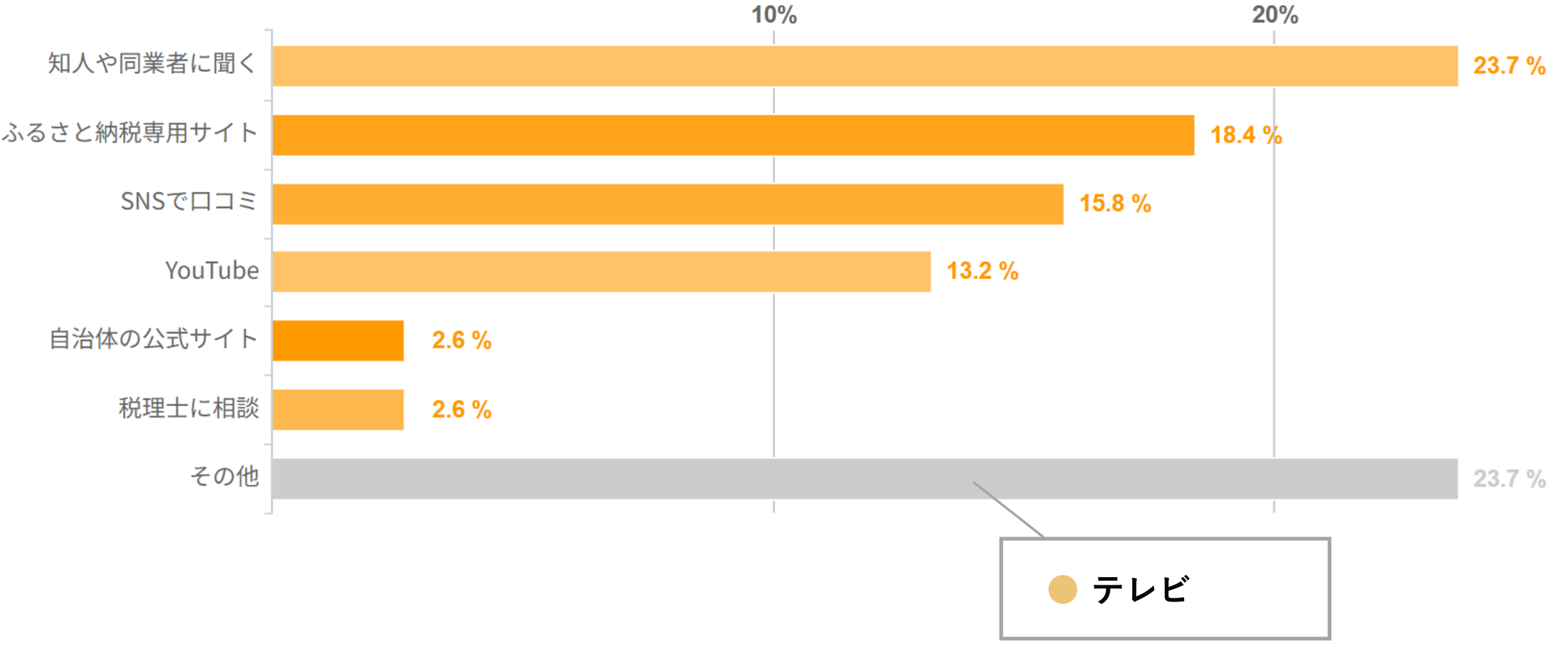
飲食業



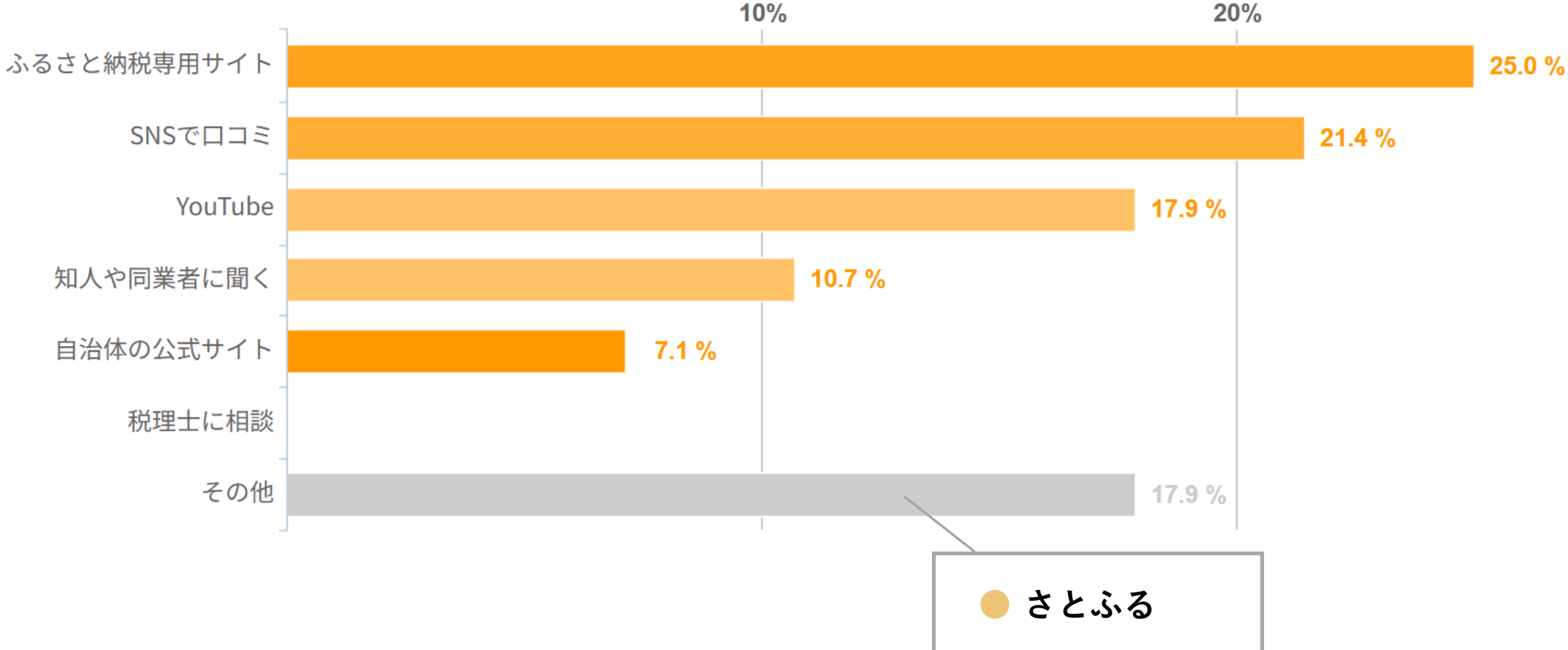
小売業



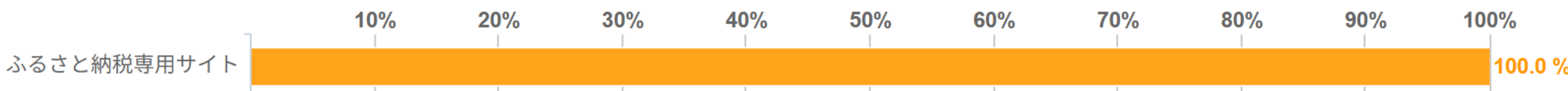
建設業



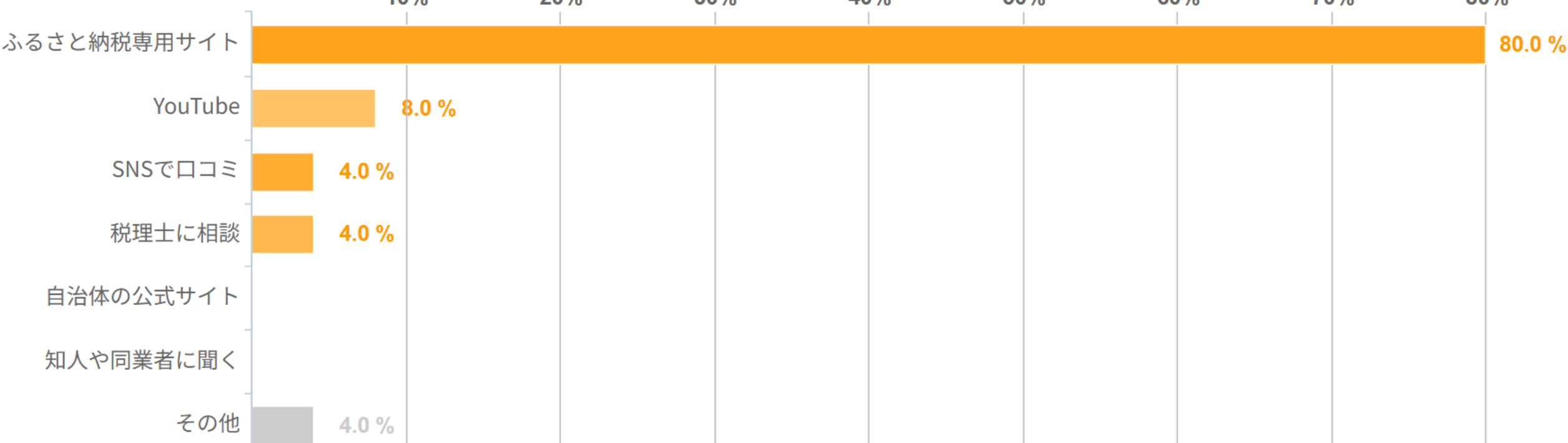
運送業



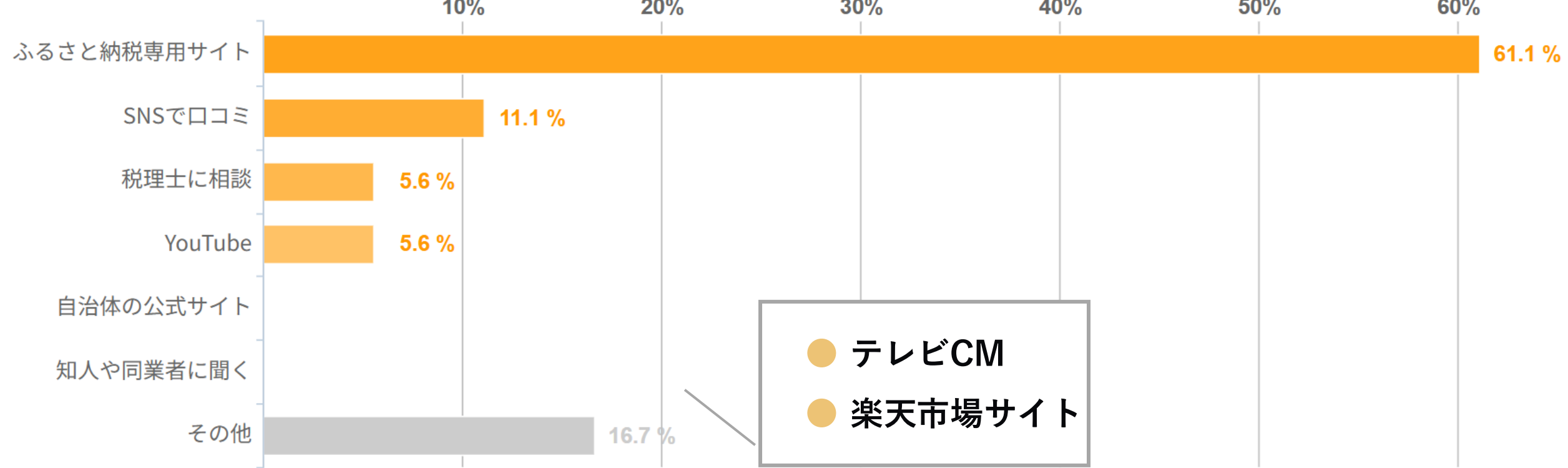
不動産業



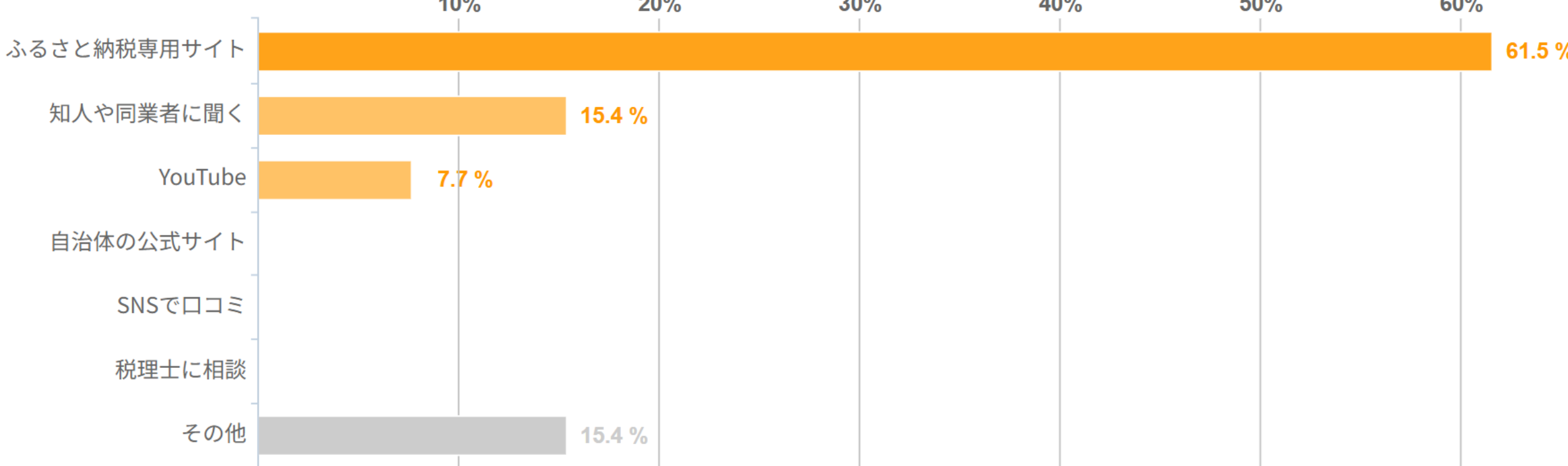
WEBサービス業



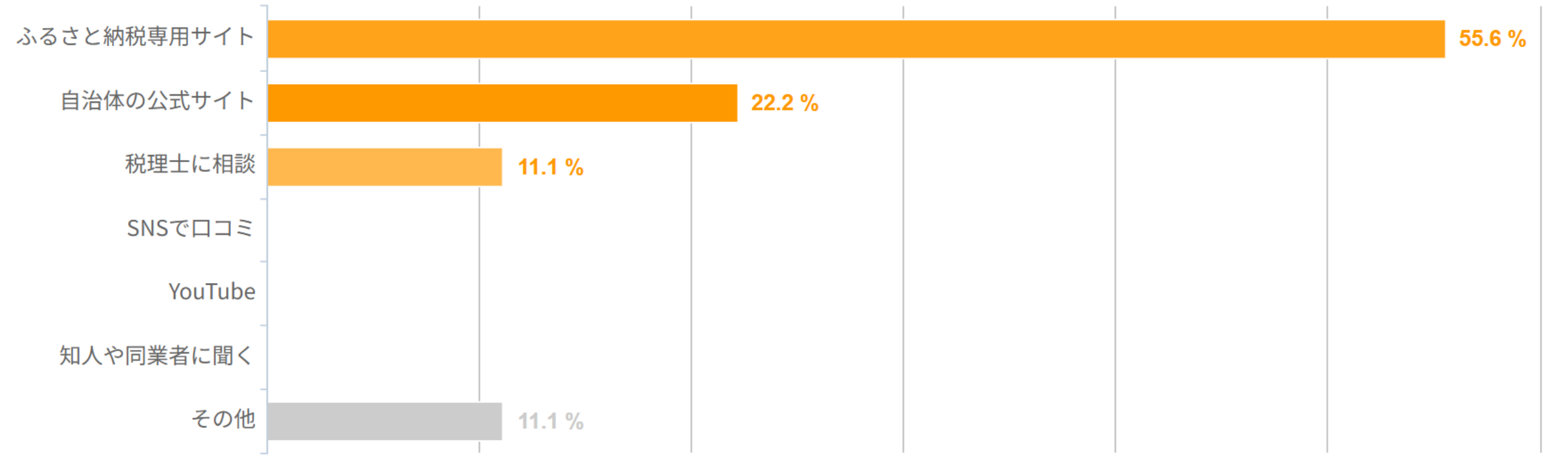
医療業・福祉業



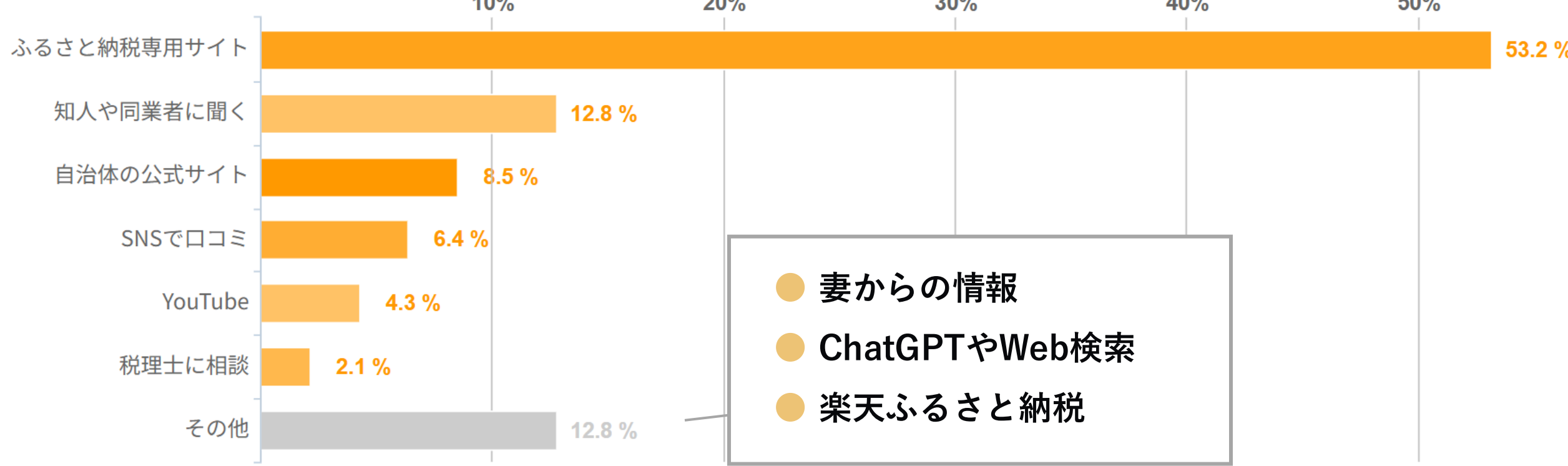
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



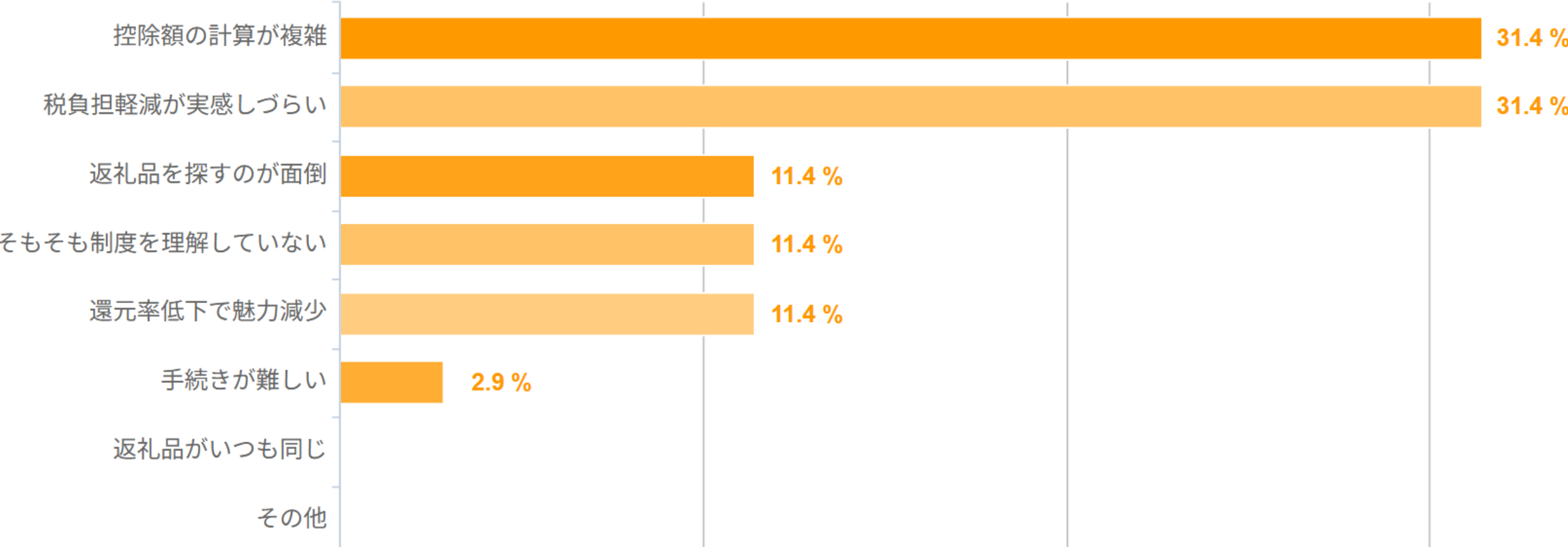
その他



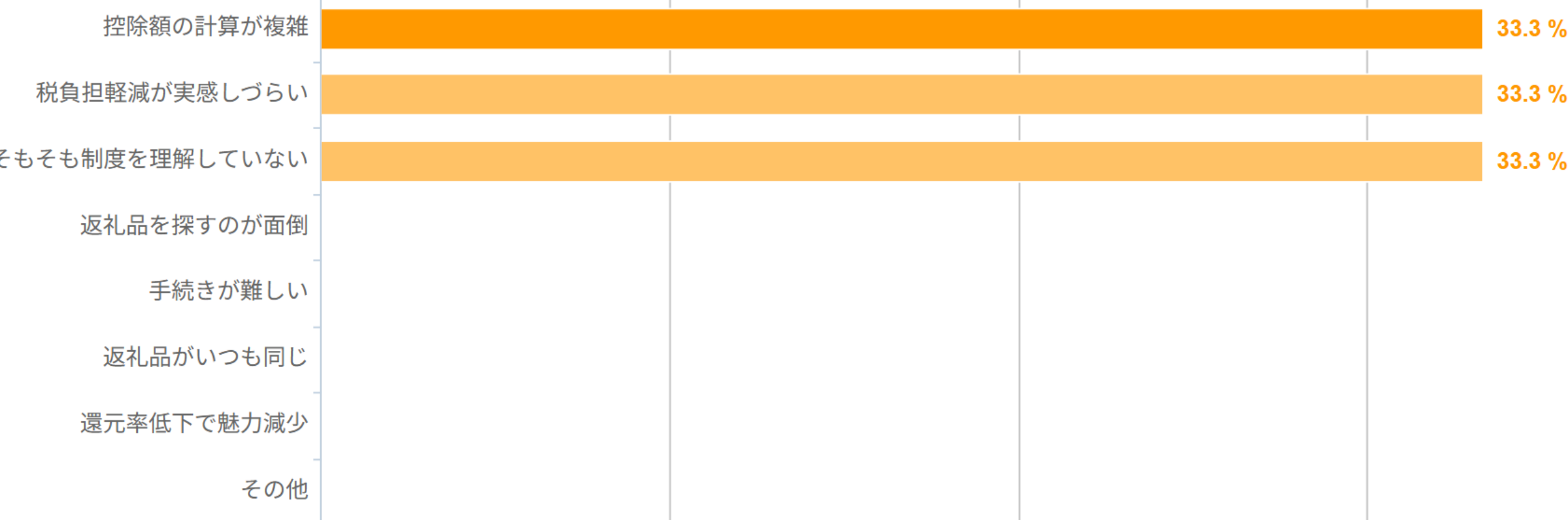
ふるさと納税を取り巻く業界の課題

ーふるさと納税を取り巻く、あなたの業界全体での課題として最も当てはまるのはどれですか？

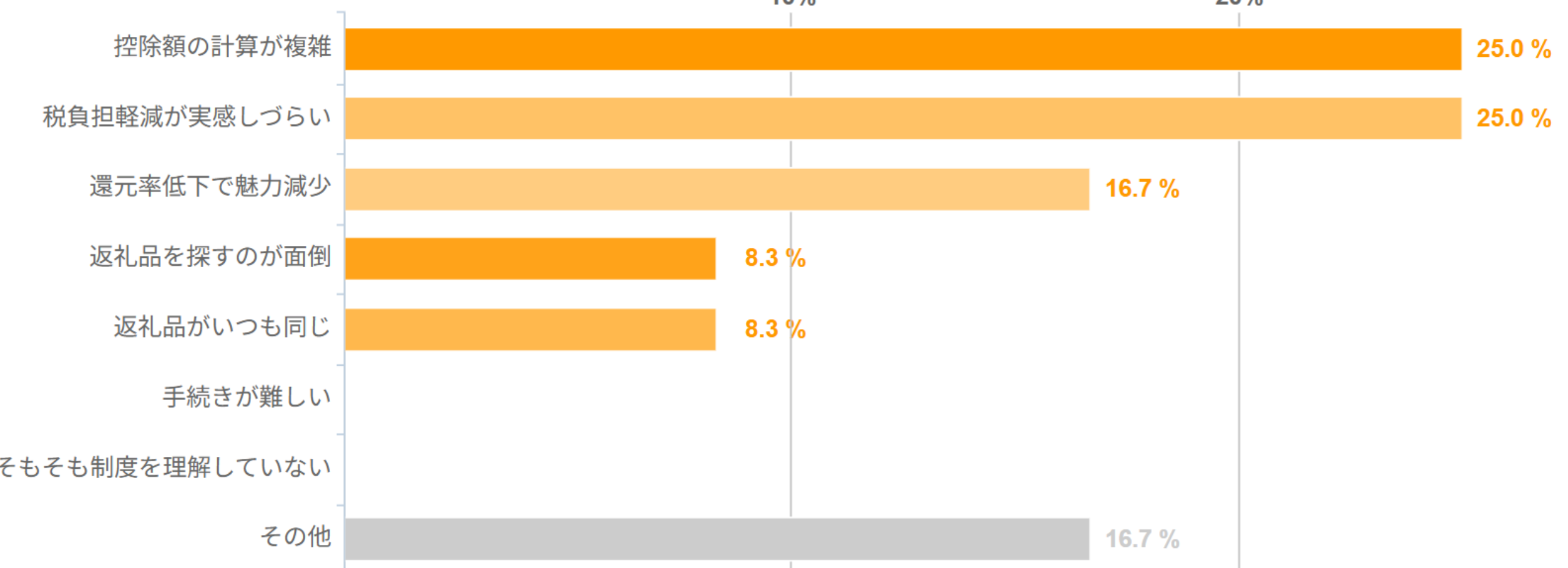
美容業



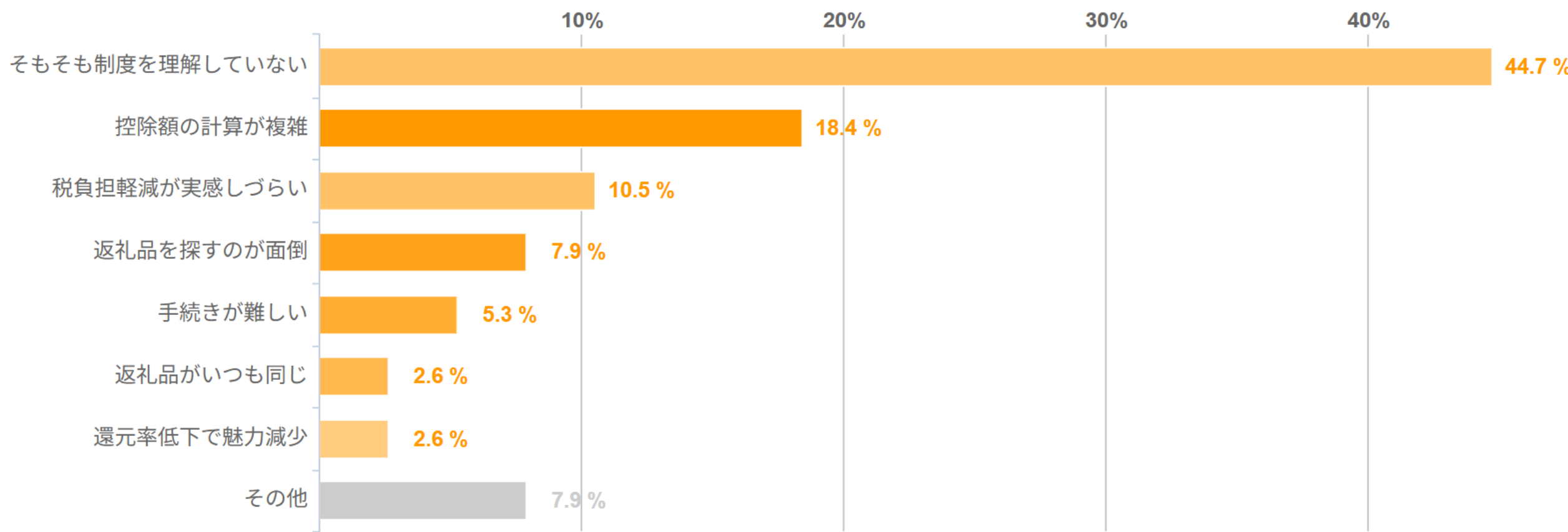
飲食業



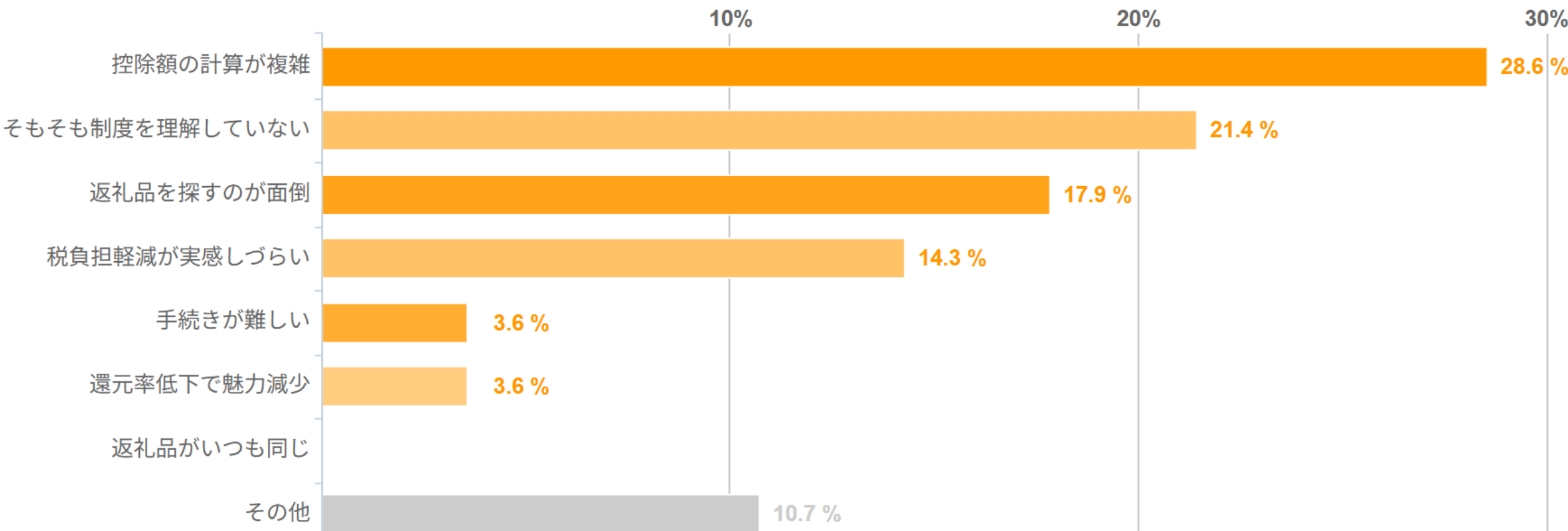
小売業



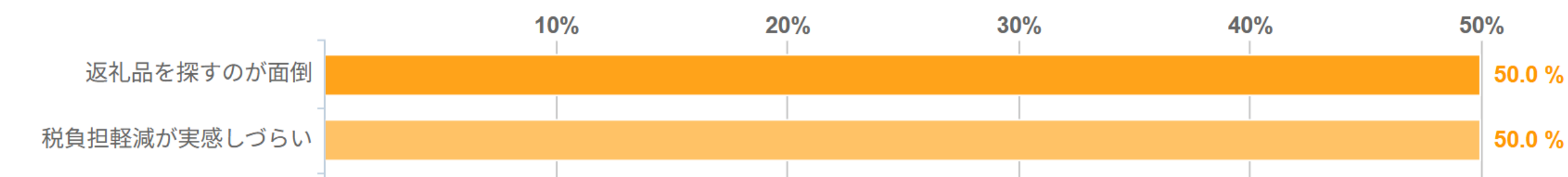
建設業



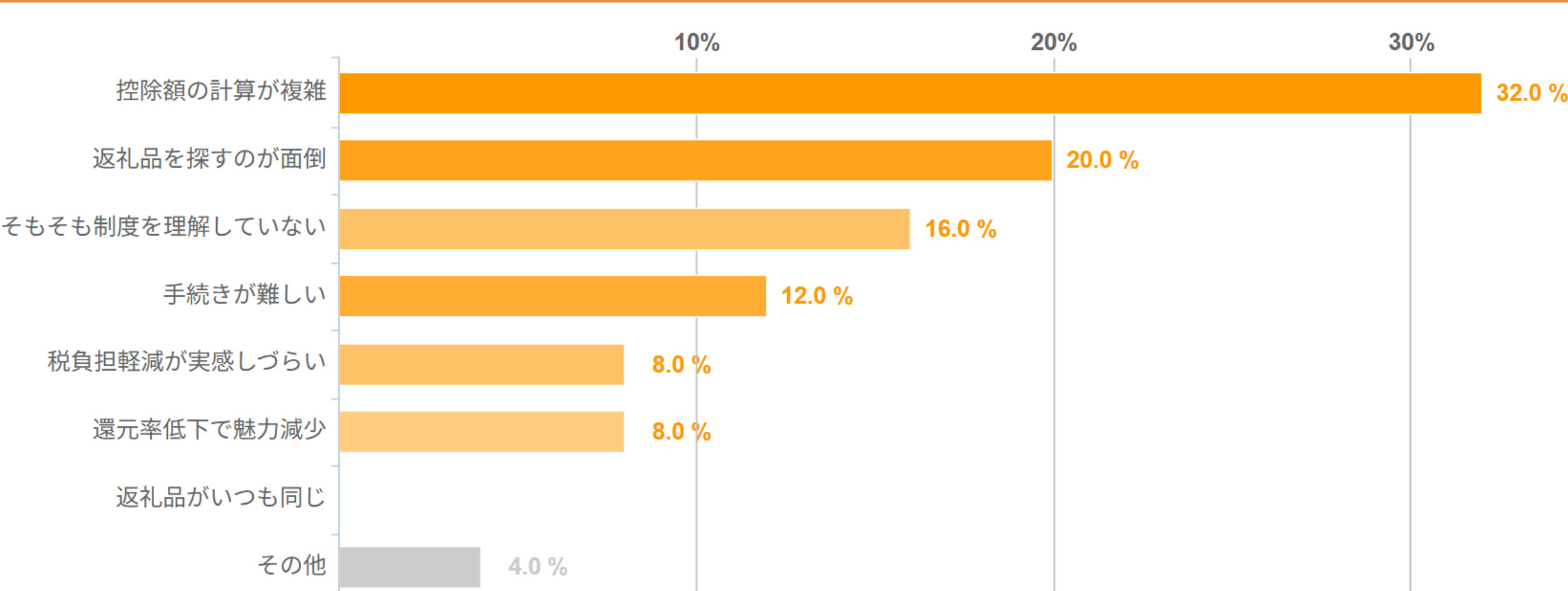
運送業



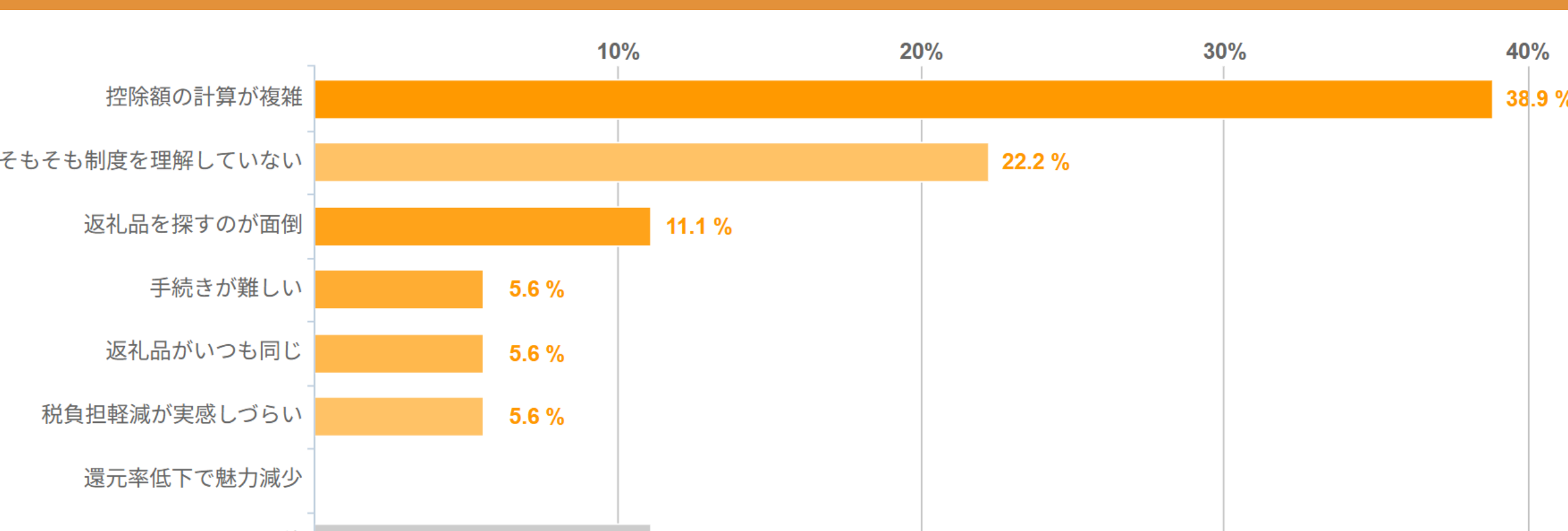
不動産業



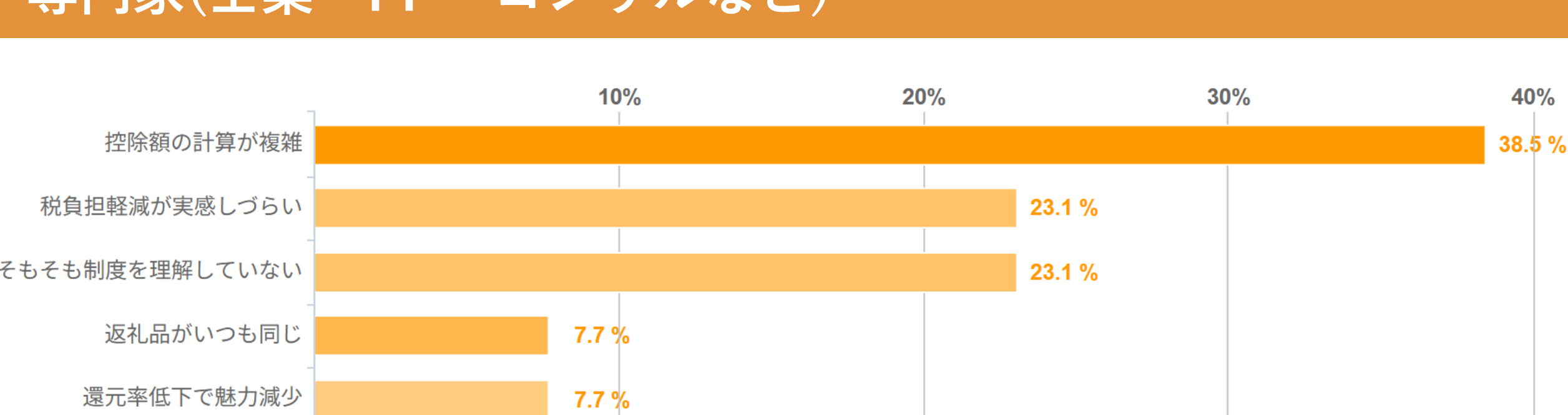
WEBサービス業



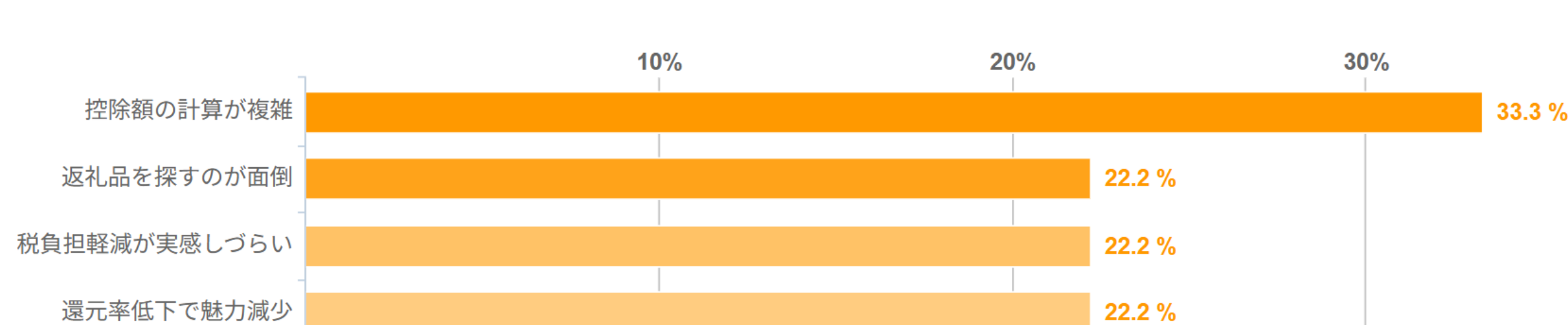
医療業・福祉業



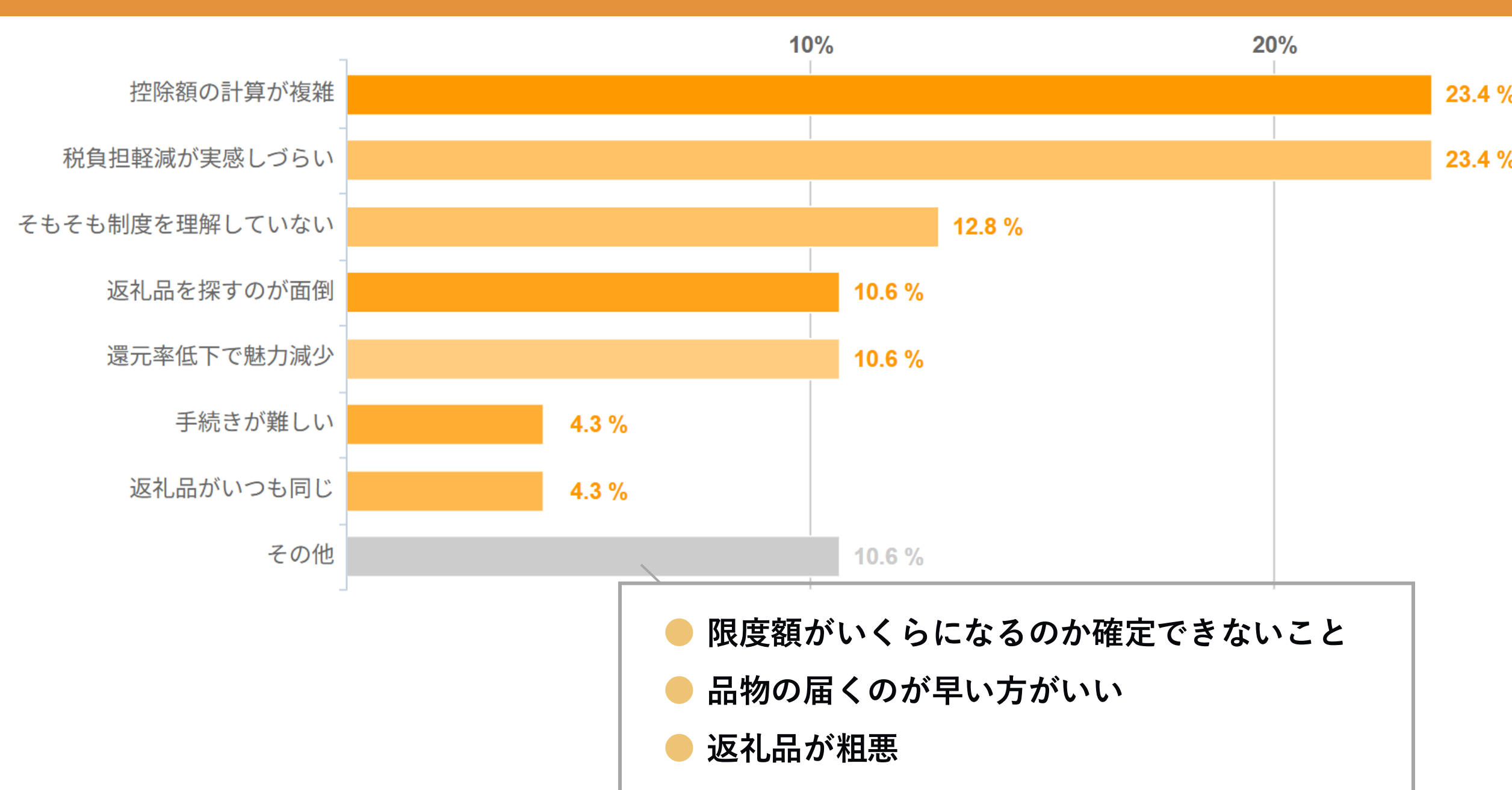
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



その他



個人事業主ならではのふるさと納税に関する課題

－会社員とは違い、個人事業主ならではのふるさと納税に関する課題や問題点について教えてください。

美容業

- 具体的な節税額がよくわからない
- 控除額の計算が複雑過ぎて、分かりづらい
- 売り上げがほぼ同じでも年によって納付金額が大きく変わるのでしすぎに注意
- 税金が安くなるがそれ以外にも節税方法があるのでもっと節税率が上がれば良い
- ふるさと納税制を行うことにより、控除があるが、地域により偏りがあると良くない
- 控除額の確定的な計算が年末ギリギリまで難しいのである程度の予測を元に考えるしか無い
- 売り上げの予測がなかなか予想しずらくて上限を決めるのが難しい
- なんでも、自分しないといけないので、確定申告が複雑になる
- 個人事業主は自分で情報を集めなくてはいけない
- 売上が上がればあがるほどふるさと納税の品を多く選べるが税金が高くなる
- 限度額がわからないので毎回毎回税理士さんに相談しないとわからない

- 自身の収入によって、ふるさと納税を利用した方が良いのかが分かりにくい
- 忙しくて手続きや選定に時間を割けない
- サービス業なのでトイレトペーパーや洗剤など店舗で消費できるものが増えると良い
- 事業経費ではないため、個人の所得税の控除として考える必要がある
- 税金対策をしていると使う機会がなくなってきてしまう
- ふるさと納税をしても控除がそんなに多い訳ではないのであまり価値は無い
- 利益がある程度決まっている人は良いと思うが変動する人は上手く活用しにくい
- いつも収入が一定額とは限らないし、収入が多い時少ない時でできたりできなかったりする
- 上限額が把握しづらいことや、手元にある資金が減ることが問題

飲食業

- 収入が安定せず寄附金控除の計算が難しい点や、税務処理の複雑さ
- 所得の変動による控除上限額を正確に把握しづらいのと、確定申告の手間が増える

小売業

- もっといい商品、食事券、図書券、コンビニとかで使える金券があるといい
- 上限額の計算が12月の売り上げに左右されるから、ギリギリまでわからない
- ふるさと納税ができる金額がややこしいのでわかりやすくしてほしい
- 予定、予想での金額算出になるため年度はじめから利用がしにくい
- 販売件数も仕入れ件数も経費も多い業界はいちいち毎月の売り上げを計算しているわけではない
- 年1回のみ確定申告をしている場合、利益が大雑把にしかわからない

建設業

- 売り上げと支出のバランスで納税額が変動する為、明確な金額が分かりづらい
- 節税対策で検討してみたいが、どれだけ得かわからないのでめんどくさい
- 仕組み化が良くわからずはじめたい気持はあるがためらっている
- 所得が安定していないことから、ふるさと納税の繰り延べ制度があればよい
- 毎年の所得が安定しないため、ふるさと納税の控除限度額を正確に見積もるのが難しい
- 会社員の月給に比べて毎月の収入にばらつきがあるため予想が立てにくい
- 控除上限額が所得次第で不安定であり、確定申告時の手続きが煩雑
- 会社員とは違い計算方法が違うので税理士さんに計算をしてもらわないといけない

運送業

- 個人事業主として 言うなら 税金対策になっているのかがいまいちわからない
- 売り上げ幅が変動するので毎年毎年で納税額を計算するのが厄介
- 個人事業主は毎月の収入が一定ではないため、年収を正確に見積もることが難しい
- ふるさと納税の控除限度額を適切に計算するのが困難
- 自分自身で確定申告をしなければならない点と節税効果の計算が複雑な点
- 売上金額から経費を引く事により収入が決まるので納税したいが売上減少等で納税できない時もある
- 会社員と個人事業主は上限額が違うのでもっとわかりやすくしてほしい
- 高所得者ほど多額の返礼品を受け取れることになるので、公平性の観点から問題があると感じる
- 納税額がわからないので、どのくらい利用すれば良いかが分かりにくい
- 今後の利益を含めて考えていくらふるさと納税するか金額を決める点

不動産業

- 毎年の収入が一定していないので、金額が決められないのが難しい
- 決算が終わる前に注文するので、予測なり安全目に手続きすることになる

WEBサービス業

- 経費の発生により所得が変動するため、限度額が分かりづらい
- 年収が固定ではないため、いくら納税できるのか判断がつきにくいこと
- 控除上限額の計算が会社員より複雑で、収入も安定しない場合が多い
- 確定申告も関係あるので、上限額を正確に計算するには個人事業主にとっては容易ではない
- 会社員と違って、ワンストップ特例制度が使えない点は不便
- 個人事業主は課税所得が個別に異なるため、サイトのふるさと納税の目安が参考にならない
- 医療費控除や経費などを12月分を想定して計算しないとイケない
- 毎年の売り上げでふるさと納税の上限金額が変わるため、計算するのが面倒
- 控除額の計算が複雑で計算が難しい
- 寄付限度額の計算が会社員とは違い、収入も毎年変動するため判断が難しい
- 個人事業主は控除可能額を正確に把握しづらい
- 見込みで控除の上限額を算出する必要があること

医療業・福祉業

- 給与じゃないので、収入が確定してないから年末ギリギリに成らないと、額を確定出来ない
- 売上、経費、所得などに会社員よりも予測しにくい
- 最後まで所得が分からないのでおおよその金額で勝負をしなくてはイケない
- 確定申告で行いたいのだが、もっとわかりやすくいつ資料が届くのか明確にしてほしい
- 税額の控除が少ないのでもっと増やしてほしい

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 年内に限度額を見極めることが困難
- 実際に無駄に支出してしまったことがある
- 年間の課税所得を予測する必要がある点が大変
- いくつか複数の自治体に寄付した場合、それぞれの自治体からの書類を一本化しないとイケない
- ふるさと納税を行うことにより、使った全額が経費算入できないこと

個人投資家

- 会社員の給与とは異なり、収入の上下があることで年末までの所得を把握しづらい
- 個人事業主、個人投資家としては、金融所得はすでに税金を取られているので考慮してほしい
- 控除額の把握が難しい
- 税務処理の煩雑さ
- 税金支払いのスケジュール調整

その他

- 売り上げが毎月変動し年間所得の見通しが難しい場合、控除額の予測ができない
- いくらまで使うとお得なのかを計算するのがよくわからない。もっとわかりやすくしてほしい。
- 税理士任せなので一体いくら減税されているのかイマイチ分かっていない
- 商品の品質より価格がやはり高い
- 控除の仕方や選び方など具体的な方法などを商工会などで学ぶ機会が欲しい
- 本当に控除されてるのか全くわからない
- ふるさと納税サイトの限度額計算が会社員向けになっているため、個人事業主にとってわかりづらい
- 税金を先に納めたという実感が感じられない
- 次年度の納税額を計算することが難しく、納めすぎたり枠を使い切れていなかったりする

ふるさと納税への期待

－会社員とは違い、個人事業主のふるさと納税に関する改善点や期待するサポートがあれば教えてください。

美容業

- 控除額の計算の代行、どこまで使えるのか？を分かりやすく
- ふるさと納税の期限を年内ではなく、国の納税と同じくらいの時期(2月ごろまで)とかにしてほしい
- 節税率をもっと増やして簡単にできるようになればうれしい
- さらに有利なようにしてほしい
- 控除額がさらに良くなったり、わかりやすく表記すること
- 会社員みたいに、確定申告の時にかってに、引いてくれていたら、楽
- ここに納税するべきという明確な地方自治体があれば教えて欲しい
- 情報を詳しく教えてくれるようなサポートがあると助かる
- 個人事業主だけの特典があればいい
- 住民税が来てからその金額分でふるさと納税を選べるようになればいい
- 毎年控除額が簡単にわかるサイトみたいなのがあったと良い
- 個人事業主が自分のビジネスに関連する特産品やサービスを返礼品として選べるようにしても良い
- もっとわかりやすくふるさと納税のポイントなどのサポートがあると良い
- 個人事業主に対しての専門のサポートがほしい

飲食業

- 自動計算ツールの提供
- 収入変動に対応
- 管理アドバイス提供
- 簡略化してほしい

小売業

- もっと会社ぐるみでやりやすくして欲しい
- わかりやすい上限額の計算サポート
- マイナンバーなどからどの程度できるか記載してほしい
- ふるさと納税の締めを12月でなく1月までにしてほしい
- 寄付額の計算ツール

建設業

- 利益が変動するので利用しづらい
- わかりやすさ
- 個人事業主のふるさと納税は、多岐にわたる納税方法があってもよい
- 確定申告の手続きが楽になるサポート
- 現金返却等が有れば良い
- もっと簡単に計算できるようにしてほしい
- 個人事業主がふるさと納税をすれば、もっと減税対象になれば良い
- 個人事業主に計算システムをふるさと納税するサイトに組み込んでほしい
- 個人事業主向けのふるさと納税の情報発信
- 控除上限額の計算がしやすいように改善していただき、確定申告がしやすいように改善してほしい

運送業

- 個人事業主のふるさと納税の改善点は節税になる事を通知する事
- 確定申告をした際に今年のふるさと納税額を教えて貰えると大変嬉しい
- 収入や経費の変動、損益状況を反映して控除限度額をより正確に算出できるシミュレーションツール
- 確定申告期限までふるさと納税額について、控除対象になるといい
- 個人事業主がふるさと納税を利用する際はもっと節税メリットがでるようにしてほしい
- ふるさと納税をする事によりインボイス制度に対する消費税も控除対象に加えてほしい
- ふるさと納税をしなくても納税する金額を下げて欲しい
- 上限額をもっとわかりやすくして欲しい
- 自治体によってふるさと納税の証明の書式が違うので統一してほしい

不動産業

- 会社員であれば、収入が一定なので使いやすい
- 個人事業主は収入に関してもう少し柔軟性がほしい

WEBサービス業

- 前年度の年収に応じたふるさと納税の利用
- 上限が溢れた場合の救済処置があると助かる
- 事業者用の専用サイトができればいい
- 個人事業主に対する正確な計算と節税効果の最大化ができるシミュレーションツール
- 計算方法の簡略化
- 控除額計算がもっと単純だといい
- 毎年の上限金額の計算が分かりやすくなる
- 控除額の計算をサポート
- 費用対効果の高い返礼品
- 個人事業主に特化した寄付限度額の計算サイトがあればいい

医療業・福祉業

- 12月末で締めるのではなく、1月までの猶予制度があるとありがたい
- ふるさと納税しすぎたら還付してもらえる制度
- 地元の人間が地元への貢献としてふるさと納税をしやすくするシステム
- マイナンバーですぐ金額がわかればいい
- 猶予期間を設けてくれるとありがたい
- 去年の金額でいくらしとけば得したとかを教えてくれたら嬉しい
- 金額の計算がもっとわかりやすいと助かる
- わかりやすく教えてくれる手引きやサポートしてくれる専用窓口

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 控除額の計算をシンプルにしてもらえると助かる
- もっと簡単に手続きができればと良い
- 確定申告書ベースで簡易に上限額が把握できるようにしてほしい
- 寄付した時点で自動的に住民税から引いてもらいたい

個人投資家

- 多額のふるさと納税者のために一時所得がわかるように還元率をわかりやすく明示してほしい
- 確定申告ソフトと連携して、自動で適切な寄付額を計算する機能
- ふるさと納税の正確な控除額を計算してくれるサービス
- 個人事業主だけに限らないが返礼率を戻してほしい

その他

- 今年の所得でなく、前年の所得を基準に控除額を算出するようにしてもらいたい
- 限度額(お得になるライン)をすぐに計算してくれるサポート
- 値段に対してもう少し商品の量を増やしてもらえたら嬉しい
- ふるさと納税のサイトで今年の控除枠の残りが表示される機能があると良い
- いくらまで納税出来るのかがもう少し分かりやすくしてほしい
- 寄付金受領証明書が紙で来るので、全て電子化して欲しい
- 控除限度額の計算を簡単に行えるサービス
- 控除上限額の把握支援、情報提供の充実
- ふるさと納税によって市民税が減ったと、わかりやすく明記しておいてほしい

ふるさと納税利用に関して聞きたいこと

ーふるさと納税の利用において、他の個人事業主や事業者に聞きたいことがあれば教えてください。

美容業

- 何を購入して生活をお得にすごせているか
 - みんながどんなふるさと納税をしているのか
 - オススメはあるのか
 - 控除額がわからなくてふるさと納税の上限を超えて損をした話
 - わたしの収入と同じくらいの方が、ふるさと納税を利用しているのか知りたい
 - 美容業で返礼品を出品していたらどんなものなのかを聞きたい
- 個人事業主がどれくらい利用しているか気になる
- ふるさと納税をどのように活用されているのかを聞きたい

飲食業

- 寄附地域はどこですか
- 手続きは簡単ですか
- おすすめの返礼品
- キャッシュフロー管理法
- 返礼品を販売やサービス提供に使った場合の事業収入と見なされるケース

小売業

- 他の個人事業主はどれくらいの金額でやっているのか
- 魅力的な返礼品

建設業

- 実際メリットはあるのか
- 仕組みをしりたい
- どんなことにふるさと納税を利用しているのか
- ふるさと納税はいつ頃、どのタイミングで利用しているか
- 計算方法が知りたい
- やってみて良いと思ったことを教えてもらいたい
- 年間どれぐらいつかっているか知りたい
- 自分がふるさと納税で使える金額を知りたい
- メリットばかり強調されるが、本当に意味のある事なのか
- 何がどのようにお得なのか、始めるにあたってどういう手順を踏めば良いのか
- ふるさと納税を利用するにあたってのメリットとデメリットを教えてほしい
- 個人事業主の皆さんがよく利用しているふるさと納税
- 余分にお金を支払っても返礼品はお得なのか
- 体験談

運送業

- 税金対策に有効か
- 付き合いに有効か
- どのように控除限度額を考えているか
- どれくらい節税効果がでているか
- 個人事業主の方々はふるさと納税をしてる方が多いのか少ないのかが知りたい
- ご自分の事業に貢献する返礼品が有るのか
- 変わったふるさと納税先
- 皆さんがどの様に活用しているのか
- ふるさと納税をして効果を感じているのか

不動産業

- お勧めの美味しい食品を教えてください

WEBサービス業

- 不安定な所得の場合、どのようにして計算して利用しているのか
- 実際に大きく得になった気がするのか、実感を教えてほしい
- ふるさと納税を利用した時に実際の還付額がいくらわかっているのか聞きたい
- どんな返礼品をもらっているのか
- ふるさと納税向けの課税所得計算をどのようにおこなっているか
- ふるさと納税は、毎年上限いっぱいまで利用しているか
- 控除額の計算はどれくらい正確に計算しているか
- 実際に得をしているのかどうか
- お得な返礼品
- どのように年間の控除可能額を予測しているのか
- 収入や経費が変動する中で、寄付額をどのタイミングで決めているのか
- 特定のシミュレーションツールや計算方法を使っているか
- ありきたりな食料品等ではなく、これはお勧めできるといった物を知りたい
- 使ったほうが良いのかどうか

医療業・福祉業

- 実質価格（定価じゃなく販売価格）がどれくらいの物が知れば、費用対効果が増すのか
- ふるさと納税可能見込み金額のうち、何%くらいをふるさと納税しているのか
- どのタイミングでしているか
- どこの地域の返礼品がお得なのか
- どのようにして見込み所得を見込んでいるのか
- ふるさと納税の利用で生活が豊かになったり幸せに感じたりしたのか
- ふるさと納税のより節税や賢い使い方やお得なもの、情報を知りたい
- やって良かった事

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 計画立てて、実施をされているのでしょうか
- 税の振込が発生する春から夏にかけては、ふるさと納税を実施していますか
- 保存が容易な返礼品があれば教えて欲しい
- 税の算出方法と納税先
- どのように活用しているのか
- どのようなものが役に立っているか
- ふるさと納税を個人事業主が行なっているのであれば、なぜなのか
- いつ頃、何を基準に寄付額を決めているのか
- おすすめの商品や、逆にこれはあまり良くなかったという商品があったら知りたい

個人投資家

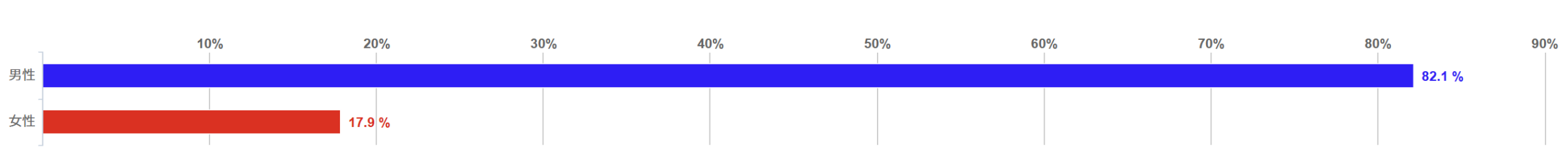
- 多額のふるさと納税をする場合、どのような返礼品を選択しているか
- 利用の動機や目的、返礼品の選び方
- おすすめのふるさと納税の返礼品

その他

- 節税を心掛け所得が下がると、ふるさと納税控除額も下がることになるが、どちらを優先するか
- どのような利用の仕方をしたら確定申告の時に得するのか
- 皆さんはどのようなものを買うことが多いか傾向が知りたい
- どのような活用方法をしているか
- 食品以外で何を買っているのか金額ごとに知りたい
- おすすめの返礼品
- どこが良かったなどの情報があれば聞きたい
- どのようにふるさと納税枠の計算をしているのか
- 節税のために効果的な利用法

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

